

# 心身障害者扶養保険財務状況将来予測

～ 令和2年度決算データによる ～

令和3年11月8日(月)

心身障害者扶養保険事業財務状況検討会

独立行政法人 福祉医療機構

# 目 次

I 将来予測等の概要	1
1 はじめに	1
2 将来予測の概要	2
(1) 計算の前提	2
① 基礎数値	
② 基礎率	
③ 将来の新規加入者数	
④ 保険料	
⑤ 公費負担	
⑥ 運用利回り	
(2) 人数の推移	3
① 加入者数の推移	
② 年金受給者数の推移	
(3) 保険収支予測	3
(4) 年金収支予測	4
3 積立比率	5
(1) 積立比率について	5
(2) 平成19年度以前加入者分にかかる積立比率について..	5
(3) 平成20年度以降加入者分にかかる積立比率について..	5
4 責任準備金	6
(1) 責任準備金の算定方法	6
(2) 令和2年度の責任準備金	6
(3) 剰余金について	6
5 まとめ	7
II 令和2年度決算データによる将来予測結果	10
1 計算の前提	10
(1) 基礎数値	10
(2) 基礎率	11
(3) 将来の新規加入者数	11
(4) 保険料	11
(5) 公費負担	12
(6) 運用利回り	12
2 人数の推移	13
(1) 加入者数の推移（新規加入者数1,000人の場合）	13
(2) 年金受給者数の推移（新規加入者数1,000人の場合）..	15
3 保険収支予測	17
4 年金収支予測	19
<b>参考1</b>	21
○ 人数の推移	21
(1) 加入者数の推移（新規加入者数2,000人の場合）	21
(2) 年金受給者数の推移（新規加入者数2,000人の場合）..	23
○ 保険収支予測	25
○ 年金収支予測	27

<b>参考 2</b> .....	29
○ 人数の推移.....	29
(1) 加入者数の推移（現在加入者のみの場合）.....	29
(2) 年金受給者数の推移（現在加入者のみの場合）.....	31
○ 保険収支予測.....	33
○ 年金収支予測.....	35
5 積立比率について .....	37
6 責任準備金について（令和2年度末現在） .....	39
○ 心身障害者扶養保険事業財務状況検討会委員名簿 .....	40

# I 将来予測等の概要

---

## 1 はじめに

---

「心身障害者扶養保険事業財務状況検討会」は、心身障害者扶養保険事業の健全かつ安定的な運営を図り、将来にわたり障害者に対する年金給付を確実に行うため、平成13年度以来、この事業の財政状況について、毎年度将来予測を実施し、長期的観点に立った分析検討による検証を行うとともに、加入者をはじめ、国、地方公共団体、障害者団体等の関係者に報告又は情報提供を行ってきた。

平成19年度には、本制度の安定的な運営を図るため、国において制度の在り方についての検討が行われ、平成20年4月から、保険料水準の見直し、公費による財政支援の延長等を骨子とした制度改正が実施された。

平成20年度以降、福祉医療機構の中期目標においても、「扶養保険事業の安定的な運営を図り、将来にわたり障害者に対する年金給付を確実に行うため、毎年度、扶養保険事業の財政状況を検証するとともに、加入者等に対し公表すること。なお、国においては少なくとも5年ごとに保険料水準等の見直しを行なうこととしていることから、基礎数値等見直しに必要な情報を提供するとともに、将来的に当該事業の安定的な運営に支障が見込まれる場合には、厚生労働大臣に対しその旨を申し出ること。」とされた。

平成29年度、国において少なくとも5年ごとに実施することとされている保険料水準等の見直しが行われ、加入者死亡率や運用利回り等を見直した上で検討した結果、保険料水準等の制度の見直しの必要性はないとされたが、安定的な運営を図り、将来にわたり障害者に対する年金給付を確実に行うため、毎年度、新たな指標（積立比率）も用いて、財政の健全性を検証し、その結果を公表するものとされた。

これを受け、本年度においても、加入者死亡率等の基礎率や運用利回りについて、国における見直しの検討で用いられたものを使用し、基礎数値を令和2年度末の実績値に置き換え、将来予測を行った。

また、国において少なくとも5年ごとに実施することとされている保険料水準等の見直しの検討が令和4年度に予定されていることから、本検討会にて検証した結果等について、必要な情報を国へ提供して行くこととする。

## 2 将来予測の概要

---

### (1) 計算の前提

国において少なくとも5年ごとに行われる保険料水準等の見直し後、毎年度、国の見直しの検討で用いられた加入者死亡率等の基礎率や運用利回りを用いて、その後の基礎数値等の実績値の変化が、国の見直しの検討において見込まれた財政状況の将来予測にどう影響（乖離等）しているか、将来的にこの事業の安定的な運営に支障が見込まれるかどうかを検討することを検証の目的としている。

このため、本年度の財政状況の検証等についても、平成29年度の国の見直しの検討で用いられた同基礎率等を使用し将来予測を行った。

#### ① 基礎数値

加入者等の基礎数値は、令和2年度末の実績値を用いた。

#### ② 基礎率

平成29年度の国における見直しに用いられた基礎率を用いた。

(障害者死亡率については、上記基礎率のうち、責任準備金算定上、国から使用を通知されている「平成15～17年度実績」を基礎とした率を用いている。)

#### ③ 将来の新規加入者数

令和3年度以降、新規加入者が毎年1,000人であるとして将来予測を行った。

(参考：平成30年度実績 973人、令和元年度実績1,012人、  
令和2年度実績1,033人)

#### ④ 保険料

平成20年度改正後の加入者年齢区分毎の保険料を用いた。

#### ⑤ 公費負担

平成29年度の国における検討で用いられた公費負担の見直しを使用した。

具体的には、令和10年度まで保険収支及び年金収支にそれぞれ毎年46億円、令和11年度は保険収支31億円、年金収支61億円、令和12年度から令和35年度まで年金収支に毎年92億円、令和36年度に年金収支69億円とした。

#### ⑥ 運用利回り

運用利回りについては、保険収支、年金収支ともに1.5%として将来予測を行った。

上記の前提における将来予測を「メインシナリオ」としているが、当報告書においては、参考として「新規加入者数が毎年2,000人となるシナリオ」(21～28ページ)と、「新規加入者数が現在加入者のみ(0人)となるシナリオ」(29～36ページ)についても将来予測を行った。

なお、(2)以降については、「メインシナリオ」について結果を記載している。

## (2) 人数の推移

### ① 加入者数の推移

加入者数は、令和2年度末では59,908人で、新規加入者数を毎年1,000人として推計すると、加入者死亡数、障害者死亡数、脱退者数の合計が新規加入者数(1,000人)を上回る令和31年度まで減少を続けるが、令和31年度末を底に、以後は緩やかに増加する。

これは、令和2年度末における加入者数の約88%を占める平成20年度改正前の年齢の高い加入者が、早い年次において死亡等により大幅に減少していくためである。

また、年齢の高い加入者の大幅な減少に伴い、平均年齢も令和4年度の74.2歳をピークにその後は徐々に低下する。

新規加入者と既加入者の死亡等による減少数が概ね均衡する令和32年度以降は、加入者数、平均年齢ともにほぼ横ばいとなる。

### ② 年金受給者数の推移

年金受給者数は、令和2年度末では58,275人である。

新規裁定者数(新規年金受給者数)は、加入者死亡数の減少に伴い減少を続け、令和13年度に失権者数(年金受給者死亡数)を下回ることから、令和12年度末をピークとして、その後は減少する。

また、令和3年度末に年金受給者数(約5万9千人)が加入者数を上回り、令和39年度末まで年金受給者数が加入者数を上回る状況が継続する。

年金受給者の平均年齢は、令和2年度では62.3歳で、毎年徐々に上昇し、令和32年度の73.8歳をピークに、以後は緩やかに低下する。

## (3) 保険収支予測

公費以外の収入(保険料及び運用収入の合計)は概ねなだらかな増加傾向となる。

一方、支出(保険金等)は、主に加入者死亡数の減少に伴う保険金支出の減少等により、令和33年度末まで減少を続けるが、その後は緩やかに増加し続ける。

支出のうち保険金支出は、平成20年度の制度見直し(保険金引上げ)以降の加入者比率が高まることと、加入者死亡数の緩やかな増加に伴い、緩やかに増加し続ける。

収支差は、公費負担終了後の令和12年度から一時的にマイナスとなるが、その後は保険料収入の増加や支出の減少に伴い減少幅が縮小し、令和21年度からは再びプラスに転じる。

保険資産は収支差に連動し、公費負担終了後の令和12年度から一時的に減少するが、令和21年度から再び増加に転じる。

#### (4) 年金収支予測

保険金収入は加入者死亡数の減少に伴い令和33年度まで減少するが、加入者死亡数の底に近づく令和34年度以降は増加に転じる。

支出は年金受給者数の増加に伴い令和13年度まで増加するが、その後は徐々に減少傾向となる。

収支差は、令和4年度から11年度ではマイナスとなるが、公費投入額が増加する令和12年度から36年度の間はプラスとなる。その後、公費投入が終了する令和37年度から47年度まではマイナスとなるが、再び、わずかなプラスに転じる。

年金資産は収支差に連動し、令和4年度から11年度では減少するが、公費投入額が増加する令和12年度から36年度の間は増加する。

その後、公費の投入が令和36年度で終了するため、収支差がマイナスとなることから、令和37年度から47年度までは年金資産が減少することとなるが、保険金と運用収入の合計額は増加傾向であることから、年金資産全体から見ると、僅かな減少に留まる。

### 3 積立比率

---

#### (1) 積立比率について

積立比率とは、仮に、次年度以降の保険料収入や公費投入を見込まなかったとした場合、これまで保険料を支払った分の給付を行うのに必要な額(過去期間分給付現価)のうち、年度末保有積立金で賄える割合を示すものである。数値は、「保険(年金)資産÷(給付現価－収入現価)」(収入現価は公費現価を除く)により算出し、「年度末保有積立金(保険資産または年金資産)÷年度末加入者または年度末受給者の過去期間分給付現価」に相当するものであり、その数値が「1」を上回っていれば、保険(年金)資産は、過去期間分保険金等(年金)給付現価を上回っていることから、過去期間分の給付が賄えるものと考えられる。

検証にあたっては、公費が投入されている平成19年度以前加入者分と、公費が投入されていない平成20年度以降加入者分に分けて行っている。

平成19年度以前加入者分については、公費投入期間であるため、「1」を確保しているかについてではなく、平成29年度に検討された国の将来見通しに対する実績値の乖離状況について、運用利回りを1.5%としたケースと0.25%(標準利率)としたケースにおいてそれぞれ検証している。

#### (2) 平成19年度以前加入者分にかかる積立比率について

令和元年度実績をみると、保険収支、年金収支ともに、国の将来見通しに対し大きな乖離は生じていない。

##### 【運用利回り1.5%ケース】

国の将来見通し：保険収支：0.69	年金収支：0.27
令和2年度実績：保険収支：0.72	年金収支：0.27

##### 【運用利回り0.25%ケース】

国の将来見通し：保険収支：0.57	年金収支：0.20
令和2年度実績：保険収支：0.62	年金収支：0.21

#### (3) 平成20年度以降加入者分にかかる積立比率について

令和2年度実績をみると、保険収支については、「1」を上回っており、年金収支についても、ほぼ「1」を確保している。

[ 令和2年度実績：保険収支：1.19      年金収支：1.00 ]

## 4 責任準備金

---

### (1) 責任準備金の算定方法

毎事業年度末現在において積み立てるべき責任準備金は、厚生労働大臣が定めるところにより、「事業年度末現在における年金受給者について将来支給する年金の現価相当額（以下「年金の現価相当額」という。）」から、「当該年金受給者に係る年金の支払いに充当すべき将来の保険金収入の現価相当額」（公費負担）を控除した額とされた。これは、次年度以降の保険料（保険金）収入と公費投入を見込む事業年度末現在積み立てるべき金額である。

また、年金の現価相当額については、「年金受給者の年金額に年1.5%の予定利率及び別途定める障害者死亡率（平成15～17年度実績値）を基礎として、その者の年齢に応じて算出する年金現価率を乗じて計算した額を合算した額」とされている。

### (2) 令和2年度の責任準備金

上記の方法により計算した年金の現価相当額は2,295億円、公費負担現価は1,635億円となり、令和2年度末決算における責任準備金は660億円となった。

なお、公費負担現価については、令和2年度以降の公費負担現価2,051億円のうち、受給者分を1,635億円、加入者分を416億円としている。

ここで、加入者分416億円については、加入者の年金の現価相当額1,693億円から保険金現価1,277億円を控除することにより、算出したものである。

### (3) 剰余金について

令和2年度末における年金資産額は735億円と責任準備金660億円を上回り、剰余金（年金資産額－責任準備金）は75億円となった。

なお、令和2年度においては、新型コロナウイルスワクチン開発と接種の進展等による経済活動再開への期待感や各国による大規模な経済対策の実施等により、国内外の株式市場が上昇し運用益が発生したことにより、年金資産額が増加した。

（剰余金の増加要因）

さらに、以下の要因により剰余金が計上された。

- ・ 年金受給者の平均年齢の上昇に伴い将来必要な年金原資（年金の現価相当額）が減少したことにより、責任準備金が減少した。 （剰余金の増加要因）
- ・ 公費負担対象の加入者が死亡し、新たに年金受給者へと移行したことにより、年金受給者分の公費負担現価が増加したことにより、責任準備金が減少した。 （剰余金の増加要因）

## 5 まとめ

### 【結論】

令和2年度は、新型コロナウイルスワクチン開発と接種の進展等による経済活動再開への期待感や各国による大規模な経済対策の実施等により、国内外の株式市場が上昇するなど、運用実績が順調であったこと等から、年度末現在における年金受給者に係る資産は責任準備金に比べ、75億円の剰余金が発生（対前年度46億円増加）した。

また、新規加入者数は2年連続で1,000人を超え、順調に推移している。

これら令和2年度の実績値等に基づき、新規加入者数を直近の実績と同程度の毎年1,000人を見込み、将来の加入者数、年金受給者数が変動する場合における将来予測を行い、財政状況を検証した結果、将来における保険資産及び年金資産の枯渇は見込まれず、平成29年度の国における見通しをさらに上回るなど改善傾向を示している。

以上のことから、引き続き運用利回りの確保に向けた安全かつ効率的なパッシブ運用を実施するとともに、加入者拡大に向けた積極的な広報活動を継続することで、当制度の安定的な運営が見込めると考えられる。

したがって、本年度の検証においては、将来的に当該事業の安定的な運営に支障は見込まれないことから、厚生労働大臣に申し出を行う必要はない。

- ・ 本年度の財政状況の検証では、平成29年度の国における「心身障害者扶養保険事業に関する検討会」において用いられた基礎率等を使用し、基礎数値として令和2年度末の加入者実績等を使用して行った。

### <主な計算の前提>

- 新規加入者数：毎年1,000人（2,000人、0人（ゼロ）の場合も試算）
- 障害者死亡率：平成15～17年度の実績値
- 公費負担額：令和3～10年度 保険収支46億円、年金収支46億円  
令和11年度 保険収支31億円、年金収支61億円  
令和12～35年度 年金収支92億円  
令和36年度 年金収支69億円
- 運用利回り：保険収支、年金収支いずれも1.5%

新規加入者数を直近の実績と同程度となる毎年1,000人をメインシナリオとして将来予測を行い、財政状況を検証した結果、保険収支及び年金収支のいずれも平成29年度の国における見通しを上回るなど、制度が長期安定的に持続できることを、本年度の将来予測から確認することができた。

また、本事業のメリットをより多くの方に享受してもらうため、少なくとも現在と同程度の制度規模を維持する想定「新規加入者数毎年2,000人」とリスクシナリオとなる「新規加入者数0人」の将来予測もあわせて試算し、メインシナリオ（毎年1,000人）と比較検証した。

新規加入者数を毎年2,000人とした場合、保険収支及び年金収支の推移はメインシナリオ（毎年1,000人）と同じ動きとなるが、各年次で収支差が上回っていることから、保険資産及び年金資産が大きく増加していくこととなる。

新規加入者数0人とした場合でも、保険収支及び年金収支がメインシナリオ（毎年1,000人）を下回り保険資産及び年金資産は大きく減少していくこととなるが、両資産の枯渇までは見込まれない結果となった。

以上のことから、メインシナリオ（毎年1,000人）を中心とするいずれのシナリオにおいても制度が持続可能であることが確認できた。

- ・ 財政状況について、令和2年度と前年度（令和元年度）を比較すると、年金受給者の平均年齢が0.55歳上昇したことに伴い、その年齢に応じて算出される年金の現価相当額（年金受給者が亡くなるまでの間に支給される将来の年金総額を現在価値に換算した額）が年金受給期間の短縮等により減少したことなどを要因として改善されている。

一方で、基礎率として用いている「障害者死亡率」は、国から通知されている平成15～17年度実績値を使用していることから、全般的な死亡率の改善等に鑑みて、機構で蓄積している直近の障害者死亡のデータ（平成29～令和2年度）等の動向について、国に情報提供することとした。

- ・ 資産運用面においては、日銀によるマイナス金利付き量的・質的金融緩和政策を背景に国内債券市場において低金利環境が継続しており、リスクを抑制する観点から国内債券を中心に運用を行っているため厳しい資金運用環境が続いている。

なお、令和元年度末には新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界的な運用環境の悪化により運用実績がマイナスとなったが、令和2年度においては新型コロナウイルスワクチン開発と接種の進展等による経済活動再開への期待感や各国による大規模な経済対策の実施等により国内外の株式市場が上昇し、運用実績が7.52%となった。

引き続き、長期的な観点から安全かつ効率的な運用に努め、今後も収益の着実な確保に向けて一層最善を尽くすことに期待したい。

- ・ 最後に、本事業は多くの関係者がそれぞれの立場で制度を支えている仕組みであることに留意し、福祉医療機構としては、加入者等関係者に十分な情報提供を行っていき、新規加入者を増やすことで、加入者は現状の水準を維持していただくことができるようになり、制度が長期安定的に持続することにつながるため、引き続き当制度の広報活動についても取り組んでいく必要がある。



## Ⅱ 令和2年度決算データによる将来予測結果

### 1 計算の前提

#### (1) 基礎数値

令和2年度末実績値

	全体	特例加入者 (注)	平成20年4月1日以前の 加入者のうち特例加入 者以外の加入者	平成20年4月1日 以降加入者
加入者数	59,908人	15,323人	37,600人	6,985人
加入者平均年齢	74.1歳	83.2歳	73.9歳	55.4歳
障害者平均年齢	43.5歳	54.2歳	43.2歳	21.5歳
保険料免除者数	40,867人	15,271人	25,596人	0人
年金受給者数	58,275人	58,204人		52人
年金受給者平均年齢	62.3歳	62.3歳		37.3歳
保険資産	94,138,865千円			
年金資産	73,526,399千円			

(注) 第2次改正(昭和61年4月～)以前の旧第1保険(平成7年12月31日以前までの保険区分であって、加入者の年齢が45歳未満の者を対象とした保険)の1口目の加入者

## (2) 基礎率

	算定基礎
障害者死亡率	平成15～17年度実績を基礎とし100歳まで
加入者死亡率	平成24～28年度実績を基礎とし105歳まで以下の2つに区分けし、かつ105歳まで ・加入者男性 ・加入者女性
脱退率	平成24～28年度実績を基礎とし64歳まで

※障害者死亡率については、責任準備金の算定において、平成15～17年度実績の死亡率を使用するよう国から通知されていることから、当該期間の死亡率を用いている。

## (3) 将来の新規加入者数

新規加入者数	毎年度1,000人
--------	-----------

※参考として、「現在加入者のみ」（今後新規加入者がゼロであっても制度を維持できるかどうかを参考検証）及び「毎年度2,000人」の場合も推計した。

## (4) 保険料

(単位：円)

加入時年齢 (注)	特例加入者 (注)	平成20年4月1日前の加入者のうち特例加入者以外の加入者	平成20年4月1日以降加入者
35歳未満	5,600	5,600	9,300
35歳以上40歳未満	6,900	6,900	11,400
40歳以上45歳未満	8,700	8,700	14,300
45歳以上50歳未満	10,600	10,600	17,300
50歳以上55歳未満	10,600	11,600	18,800
55歳以上60歳未満	10,600	12,800	20,700
60歳以上65歳未満	10,600	14,500	23,300

(注) 特例加入者については、昭和61年4月1日現在の年齢

(5) 公費負担

	令和3～10年度	令和11年度	令和12～35年度	令和36年度
特例保険料	46億円	31億円	—	—
特例保険金	46億円	61億円	92億円	69億円

(6) 運用利回り

保険収支	: 1.5%
年金収支	: 1.5%

※積立比率の算出ケースとしてのみ使用

保険収支	: 0.25%
年金収支	: 0.25%

(参考1) 弔慰金給付保険金

(単位:円)

加入期間	平成20年3月31日 以前加入者	平成20年4月1日 以降加入者
1年以上～5年未満	30,000	50,000
5年以上～20年未満	75,000	125,000
20年以上	150,000	250,000

(参考2) 脱退一時金給付保険金

(単位:円)

加入期間	平成20年3月31日 以前加入者	平成20年4月1日 以降加入者
5年以上～10年未満	45,000	75,000
10年以上～20年未満	75,000	125,000
20年以上	150,000	250,000

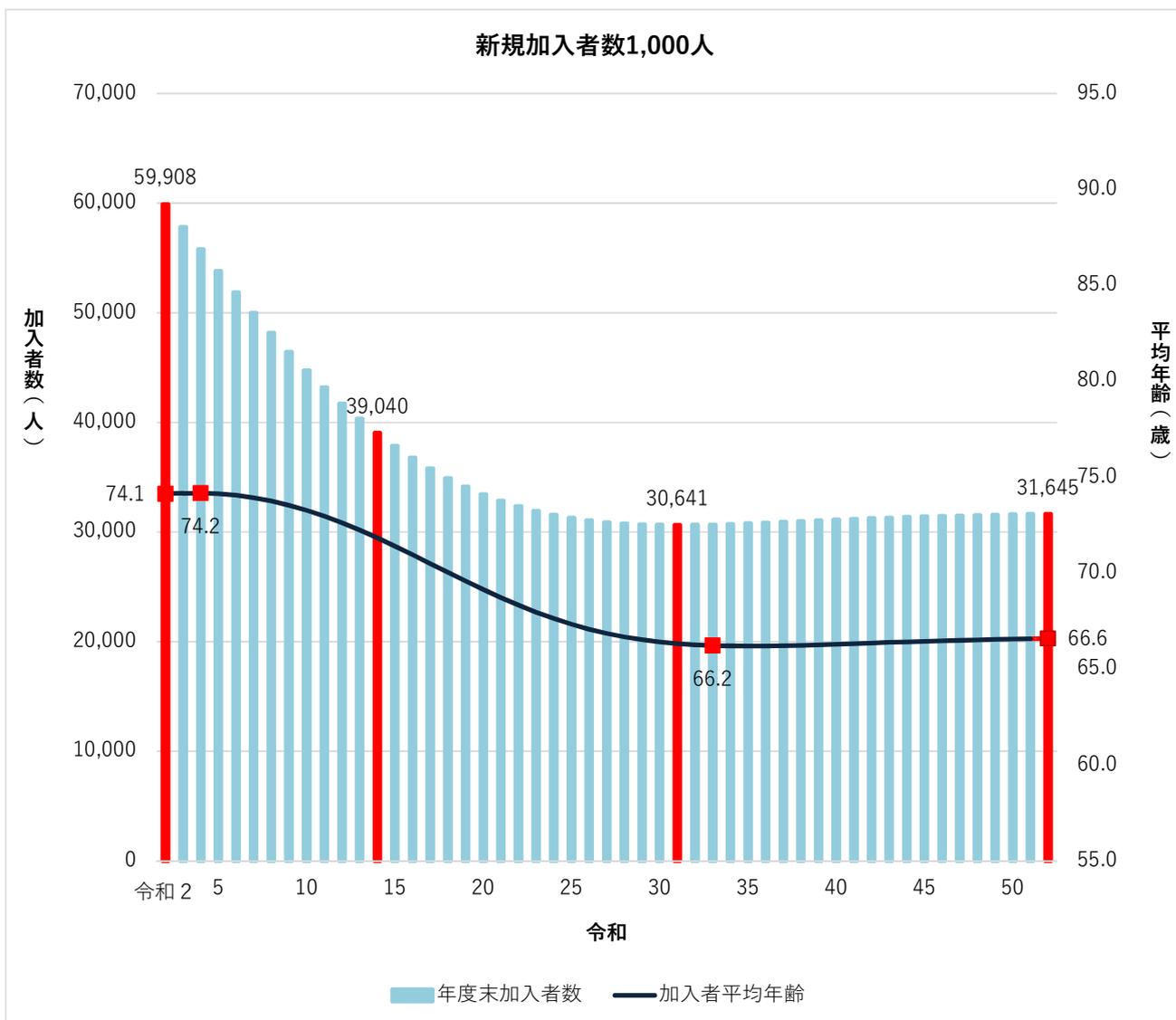
## 2 人数の推移

### (1) 加入者数の推移（新規加入者数1,000人の場合）

(単位：人、歳)

年次	年度		年度始 加入者数	新規 加入者数	加入者 死亡数	障害者 死亡数	脱退者数	年度末 加入者数	保険料 免除者数	平均年齢
	令和	西暦								
0	2	2020						59,908	40,867	74.1
1	3	2021	59,908	1,000	2,606	456	40	57,806	39,031	74.2
2	4	2022	57,806	1,000	2,539	444	40	55,785	37,224	74.2
3	5	2023	55,785	1,000	2,511	432	40	53,802	35,389	74.1
4	6	2024	53,802	1,000	2,477	419	40	51,866	33,682	74.1
5	7	2025	51,866	1,000	2,436	405	40	49,984	32,135	73.9
6	8	2026	49,984	1,000	2,385	390	40	48,169	30,587	73.8
7	9	2027	48,169	1,000	2,325	376	41	46,427	29,126	73.5
8	10	2028	46,427	1,000	2,259	361	41	44,766	28,550	73.3
9	11	2029	44,766	1,000	2,186	347	41	43,192	26,926	73.0
10	12	2030	43,192	1,000	2,108	332	41	41,710	25,114	72.6
11	13	2031	41,710	1,000	2,026	318	42	40,325	23,409	72.2
12	14	2032	40,325	1,000	1,939	304	42	39,040	21,729	71.8
13	15	2033	39,040	1,000	1,850	290	43	37,858	20,202	71.4
14	16	2034	37,858	1,000	1,761	276	43	36,778	18,705	71.0
15	17	2035	36,778	1,000	1,672	264	43	35,799	17,284	70.5
16	18	2036	35,799	1,000	1,583	252	44	34,921	16,067	70.0
17	19	2037	34,921	1,000	1,497	241	44	34,140	14,915	69.6
18	20	2038	34,140	1,000	1,412	230	44	33,454	14,077	69.1
19	21	2039	33,454	1,000	1,331	220	44	32,859	13,398	68.7
20	22	2040	32,859	1,000	1,254	211	44	32,349	12,833	68.3
21	23	2041	32,349	1,000	1,182	203	44	31,920	12,891	68.0
22	24	2042	31,920	1,000	1,114	195	45	31,567	12,467	67.6
23	25	2043	31,567	1,000	1,052	188	45	31,282	12,140	67.3
24	26	2044	31,282	1,000	996	182	45	31,059	11,874	67.1
25	27	2045	31,059	1,000	946	176	45	30,892	11,673	66.9
26	28	2046	30,892	1,000	903	172	45	30,772	11,531	66.7
27	29	2047	30,772	1,000	864	168	45	30,694	11,434	66.5
28	30	2048	30,694	1,000	831	165	45	30,653	11,385	66.4
29	31	2049	30,653	1,000	803	163	45	30,641	11,376	66.3
30	32	2050	30,641	1,000	780	161	45	30,655	11,376	66.3
31	33	2051	30,655	1,000	763	160	45	30,687	11,404	66.2
32	34	2052	30,687	1,000	751	159	45	30,732	11,445	66.2
33	35	2053	30,732	1,000	740	158	45	30,788	11,503	66.2
34	36	2054	30,788	1,000	733	158	45	30,852	11,567	66.2
35	37	2055	30,852	1,000	728	158	45	30,921	11,638	66.2
36	38	2056	30,921	1,000	726	158	45	30,992	11,709	66.2
37	39	2057	30,992	1,000	726	158	45	31,062	11,780	66.3
38	40	2058	31,062	1,000	727	159	45	31,131	11,848	66.3
39	41	2059	31,131	1,000	729	159	45	31,197	11,915	66.3
40	42	2060	31,197	1,000	733	160	45	31,259	11,977	66.4
41	43	2061	31,259	1,000	736	160	45	31,317	12,036	66.4
42	44	2062	31,317	1,000	740	161	45	31,371	12,090	66.4
43	45	2063	31,371	1,000	744	161	45	31,421	12,139	66.4
44	46	2064	31,421	1,000	748	162	45	31,465	12,184	66.5
45	47	2065	31,465	1,000	752	162	45	31,506	12,224	66.5
46	48	2066	31,506	1,000	756	162	45	31,542	12,260	66.5
47	49	2067	31,542	1,000	760	163	45	31,573	12,292	66.5
48	50	2068	31,573	1,000	764	163	45	31,601	12,320	66.6
49	51	2069	31,601	1,000	767	164	45	31,625	12,343	66.6
50	52	2070	31,625	1,000	770	164	45	31,645	12,364	66.6

## ○ 加入者数と平均年齢の推移（新規加入者数1,000人の場合）



### 概要

- ・ 加入者数は、加入者死亡数、障害者死亡数、脱退者数の合計が新規加入者数（1,000人）を上回る令和31年度まで減少を続けるが、令和31年度末を底に、以後は緩やかに増加する。
- ・ これは令和2年度末における加入者数の約88%を占める平成20年度改正前の年齢の高い加入者が、早い年次において死亡等により大幅に減少していくためである。また、年齢の高い加入者の大幅な減少に伴い、平均年齢も令和4年度の74.2歳をピークにその後は徐々に低下する。
- ・ 新規加入者数と既加入者の死亡等による減少数が概ね均衡する令和32年度以降は、加入者数、平均年齢ともにほぼ横ばいとなる。

### (注) 「平均年齢」の考え方

各年度の加入者平均年齢は加入者が制度に加入してからの加入期間と密接にリンクしている。

- ・ 加入者平均年齢が高い場合は「加入期間の長い高齢な加入者の構成比率が高い（加入者死亡数（年金受給者への移行）が多くなる）」と考えられる。
- ・ 加入者平均年齢が低い場合は「加入期間の短い比較的若い加入者の構成比率が高い（加入者死亡数（年金受給者への移行）が少なくなる）」と考えられる。

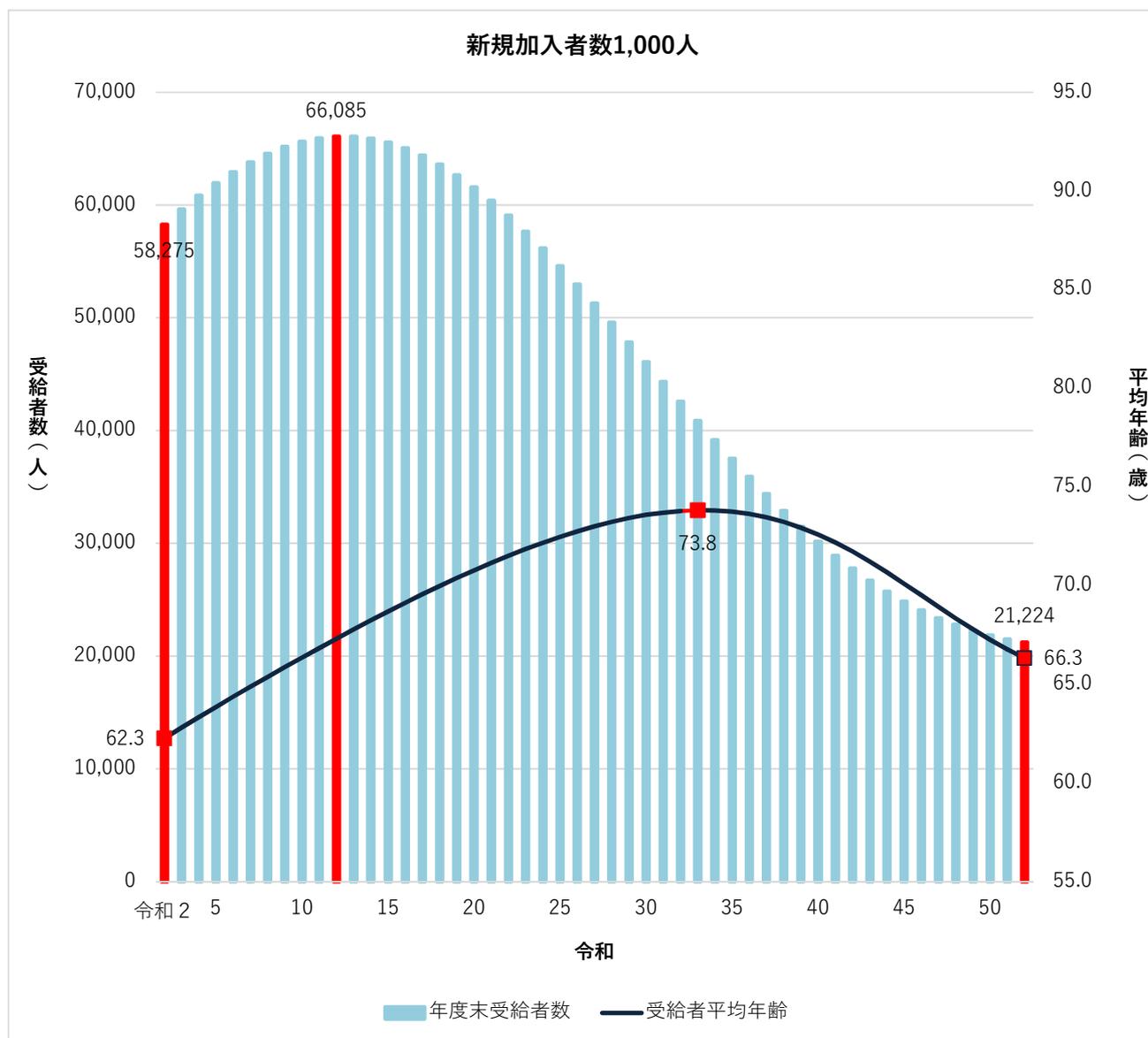
※「新規加入者2,000人」の推計の場合も同様の考え方である。

(2) 年金受給者数の推移（新規加入者数1,000人の場合）

（単位：人、歳、％）

年次	年度		年度始年金 受給者数	新 規 裁定者数	失権者数	年度末年金 受給者数	平均年齢	年金受給者数 ÷加入者数
	令和	西暦						
0	2	2020				58,275	62.3	97.3
1	3	2021	58,275	2,606	1,263	59,618	62.8	103.1
2	4	2022	59,618	2,539	1,330	60,827	63.3	109.0
3	5	2023	60,827	2,511	1,405	61,933	63.9	115.1
4	6	2024	61,933	2,477	1,481	62,928	64.4	121.3
5	7	2025	62,928	2,436	1,559	63,805	64.9	127.7
6	8	2026	63,805	2,385	1,637	64,553	65.4	134.0
7	9	2027	64,553	2,325	1,716	65,162	65.9	140.4
8	10	2028	65,162	2,259	1,797	65,625	66.4	146.6
9	11	2029	65,625	2,186	1,877	65,934	66.8	152.7
10	12	2030	65,934	2,108	1,957	66,085	67.3	158.4
11	13	2031	66,085	2,026	2,037	66,074	67.8	163.9
12	14	2032	66,074	1,939	2,115	65,898	68.2	168.8
13	15	2033	65,898	1,850	2,189	65,559	68.7	173.2
14	16	2034	65,559	1,761	2,260	65,059	69.1	176.9
15	17	2035	65,059	1,672	2,327	64,404	69.6	179.9
16	18	2036	64,404	1,583	2,388	63,600	70.0	182.1
17	19	2037	63,600	1,497	2,443	62,653	70.4	183.5
18	20	2038	62,653	1,412	2,491	61,574	70.8	184.1
19	21	2039	61,574	1,331	2,532	60,373	71.1	183.7
20	22	2040	60,373	1,254	2,566	59,061	71.5	182.6
21	23	2041	59,061	1,182	2,593	57,650	71.8	180.6
22	24	2042	57,650	1,114	2,611	56,154	72.2	177.9
23	25	2043	56,154	1,052	2,621	54,585	72.5	174.5
24	26	2044	54,585	996	2,625	52,956	72.7	170.5
25	27	2045	52,956	946	2,621	51,281	73.0	166.0
26	28	2046	51,281	903	2,615	49,569	73.2	161.1
27	29	2047	49,569	864	2,605	47,828	73.4	155.8
28	30	2048	47,828	831	2,586	46,072	73.6	150.3
29	31	2049	46,072	803	2,559	44,316	73.7	144.6
30	32	2050	44,316	780	2,525	42,572	73.8	138.9
31	33	2051	42,572	763	2,484	40,850	73.8	133.1
32	34	2052	40,850	751	2,439	39,162	73.8	127.4
33	35	2053	39,162	740	2,390	37,512	73.7	121.8
34	36	2054	37,512	733	2,335	35,910	73.6	116.4
35	37	2055	35,910	728	2,271	34,368	73.5	111.1
36	38	2056	34,368	726	2,202	32,893	73.2	106.1
37	39	2057	32,893	726	2,133	31,486	72.9	101.4
38	40	2058	31,486	727	2,057	30,156	72.6	96.9
39	41	2059	30,156	729	1,974	28,912	72.2	92.7
40	42	2060	28,912	733	1,889	27,755	71.7	88.8
41	43	2061	27,755	736	1,805	26,686	71.2	85.2
42	44	2062	26,686	740	1,715	25,711	70.7	82.0
43	45	2063	25,711	744	1,616	24,839	70.1	79.1
44	46	2064	24,839	748	1,525	24,062	69.5	76.5
45	47	2065	24,062	752	1,438	23,376	68.9	74.2
46	48	2066	23,376	756	1,351	22,781	68.3	72.2
47	49	2067	22,781	760	1,265	22,277	67.8	70.6
48	50	2068	22,277	764	1,188	21,852	67.2	69.2
49	51	2069	21,852	767	1,115	21,505	66.8	68.0
50	52	2070	21,505	770	1,051	21,224	66.3	67.1

## ○ 受給者数と平均年齢の推移（新規加入者数1,000人の場合）



### 概要

- ・ 新規裁定者数（新規年金受給者数）は、加入者死亡数の減少に伴い減少を続け、令和13年度に失権者数を下回ることから、年金受給者数は令和12年度末をピークとして、その後は減少する。
- ・ また、令和3年度末に年金受給者数（約5万9千人）が加入者数を上回り、令和39年度末まで年金受給者数が加入者数を上回る状況が継続する。
- ・ 年金受給者の平均年齢は、毎年徐々に上昇し、令和32年度の73.8歳をピークに、以後は緩やかに低下する。

### （注）「平均年齢」の考え方

各年度の受給者平均年齢は加入者が死亡してからの年金受給期間と密接にリンクしている。

- ・ 受給者平均年齢が高い場合は「今後の受給期間の短い高齢な受給者の構成比率が高い（失権者数（受給者の死亡による年金受給権の失権）が多くなる）」と考えられる。
- ・ 受給者平均年齢が低い場合は「今後の受給期間の長い比較的若い受給者の構成比率が高い（失権者数（受給者の死亡による年金受給権の失権）が少なくなる）」と考えられる。

※「新規加入者2,000人」の推計の場合も同様の考え方である。

### 3 保険収支予測

○ 運用利回り 1.5% (新規加入者数1,000人の場合)

(単位：百万円)

年次	年度		収入				支出計 (保険金、弔慰金、 脱退一時金)	収支差引額	保険資産
	令和	西暦	収入計	保険料	公費負担	運用収入			
0	2	2020							94,139
1	3	2021	8,936	2,968	4,600	1,368	8,816	120	94,259
2	4	2022	9,007	3,034	4,600	1,372	8,601	405	94,664
3	5	2023	9,066	3,086	4,600	1,379	8,511	554	95,218
4	6	2024	9,122	3,133	4,600	1,389	8,398	724	95,942
5	7	2025	9,163	3,162	4,600	1,401	8,268	895	96,837
6	8	2026	9,203	3,187	4,600	1,416	8,092	1,110	97,948
7	9	2027	9,248	3,214	4,600	1,434	7,927	1,321	99,268
8	10	2028	9,237	3,182	4,600	1,455	7,724	1,513	100,781
9	11	2029	7,733	3,153	3,100	1,479	7,500	232	101,014
10	12	2030	4,702	3,218	0	1,485	7,275	-2,572	98,441
11	13	2031	4,760	3,311	0	1,449	7,026	-2,266	96,175
12	14	2032	4,824	3,407	0	1,417	6,778	-1,954	94,221
13	15	2033	4,894	3,503	0	1,391	6,523	-1,630	92,592
14	16	2034	4,968	3,599	0	1,369	6,267	-1,300	91,292
15	17	2035	5,051	3,699	0	1,352	6,027	-976	90,316
16	18	2036	5,129	3,789	0	1,340	5,773	-644	89,672
17	19	2037	5,204	3,872	0	1,333	5,533	-329	89,343
18	20	2038	5,262	3,932	0	1,330	5,298	-36	89,307
19	21	2039	5,289	3,958	0	1,331	5,085	204	89,511
20	22	2040	5,307	3,971	0	1,336	4,879	428	89,939
21	23	2041	5,210	3,867	0	1,343	4,709	501	90,440
22	24	2042	5,168	3,816	0	1,351	4,521	647	91,087
23	25	2043	5,186	3,824	0	1,362	4,364	822	91,909
24	26	2044	5,205	3,829	0	1,376	4,234	971	92,880
25	27	2045	5,225	3,834	0	1,391	4,119	1,106	93,986
26	28	2046	5,246	3,838	0	1,408	4,024	1,222	95,208
27	29	2047	5,267	3,840	0	1,427	3,950	1,317	96,526
28	30	2048	5,289	3,842	0	1,448	3,890	1,400	97,925
29	31	2049	5,311	3,842	0	1,469	3,863	1,448	99,373
30	32	2050	5,333	3,843	0	1,491	3,828	1,505	100,878
31	33	2051	5,357	3,844	0	1,513	3,810	1,547	102,425
32	34	2052	5,381	3,844	0	1,537	3,822	1,558	103,983
33	35	2053	5,404	3,844	0	1,560	3,831	1,573	105,556
34	36	2054	5,427	3,844	0	1,583	3,850	1,577	107,133
35	37	2055	5,451	3,844	0	1,607	3,859	1,592	108,725
36	38	2056	5,474	3,844	0	1,631	3,882	1,593	110,318
37	39	2057	5,498	3,844	0	1,654	3,917	1,581	111,899
38	40	2058	5,522	3,844	0	1,678	3,955	1,566	113,466
39	41	2059	5,545	3,844	0	1,701	3,997	1,547	115,013
40	42	2060	5,567	3,844	0	1,724	4,040	1,527	116,540
41	43	2061	5,590	3,844	0	1,746	4,084	1,506	118,046
42	44	2062	5,612	3,844	0	1,769	4,127	1,486	119,532
43	45	2063	5,634	3,844	0	1,791	4,168	1,466	120,998
44	46	2064	5,656	3,844	0	1,812	4,207	1,449	122,447
45	47	2065	5,677	3,844	0	1,834	4,244	1,434	123,881
46	48	2066	5,699	3,844	0	1,855	4,278	1,421	125,302
47	49	2067	5,720	3,844	0	1,876	4,310	1,410	126,712
48	50	2068	5,741	3,844	0	1,897	4,338	1,402	128,114
49	51	2069	5,762	3,844	0	1,918	4,364	1,397	129,511
50	52	2070	5,782	3,844	0	1,939	4,387	1,395	130,906

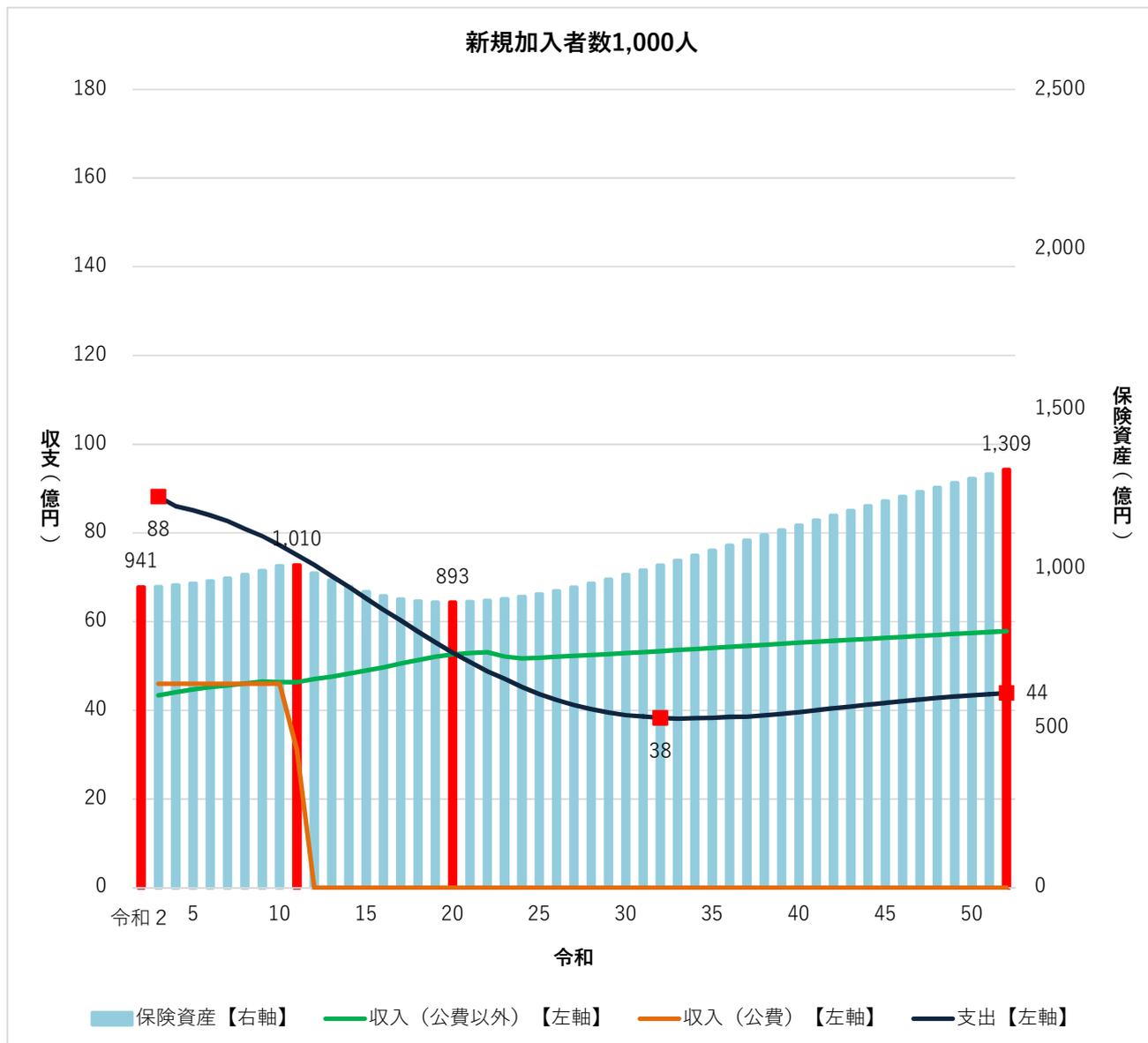
## ○ 保険収支と保険資産の推移（新規加入者数1,000人の場合）

<公費>

R 3 ～R 1 0 : 4 6 億円

R 1 1 : 3 1 億円

R 1 2～ : (なし)



### 概要

- ・ 公費以外の収入（保険料及び運用収入の合計）は、概ねなだらかな増加傾向となる。
- ・ 支出（保険金、弔慰金及び脱退一時金）は、主に加入者死亡数の減少に伴う保険金支出の減少等により令和 3 3 年度まで減少を続けるが、その後は緩やかに増加し続ける。
- ・ 保険資産は、収支差に連動し、公費負担終了後の令和 1 2 年度から一時的に減少するが、令和 2 1 年度からは再び増加に転じる。

#### 4 年金収支予測

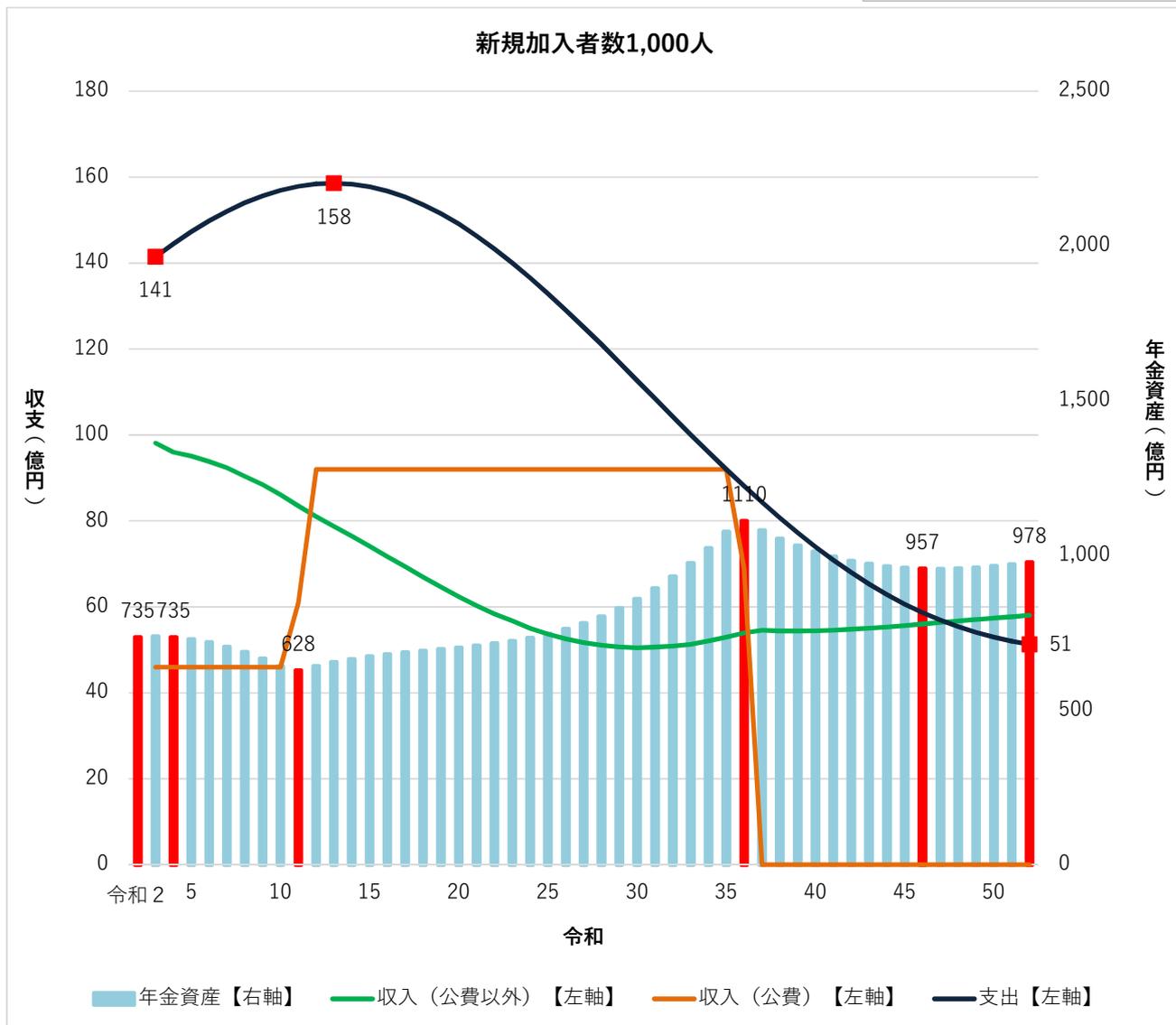
○ 運用利回り 1.5% (新規加入者数1,000人の場合)

(単位：百万円)

年次	年度		収入				支出	収支差引額	年金資産
	令和	西暦	収入計	保険金	公費負担	運用収入			
0	2	2020							73,526
1	3	2021	14,413	8,751	4,600	1,063	14,147	266	73,793
2	4	2022	14,201	8,538	4,600	1,063	14,453	-253	73,540
3	5	2023	14,105	8,449	4,600	1,056	14,731	-626	72,914
4	6	2024	13,982	8,338	4,600	1,044	14,983	-1,001	71,913
5	7	2025	13,836	8,209	4,600	1,026	15,208	-1,372	70,540
6	8	2026	13,638	8,035	4,600	1,003	15,403	-1,765	68,775
7	9	2027	13,446	7,872	4,600	974	15,566	-2,120	66,655
8	10	2028	13,210	7,670	4,600	940	15,694	-2,485	64,171
9	11	2029	14,448	7,448	6,100	900	15,787	-1,339	62,832
10	12	2030	17,303	7,225	9,200	878	15,842	1,460	64,292
11	13	2031	17,075	6,977	9,200	898	15,859	1,216	65,508
12	14	2032	16,846	6,731	9,200	915	15,837	1,009	66,517
13	15	2033	16,607	6,479	9,200	928	15,775	832	67,350
14	16	2034	16,364	6,225	9,200	940	15,674	690	68,040
15	17	2035	16,136	5,987	9,200	949	15,536	600	68,640
16	18	2036	15,892	5,734	9,200	958	15,360	531	69,172
17	19	2037	15,661	5,495	9,200	965	15,150	510	69,682
18	20	2038	15,435	5,261	9,200	973	14,907	527	70,209
19	21	2039	15,231	5,050	9,200	982	14,634	597	70,807
20	22	2040	15,036	4,845	9,200	991	14,332	704	71,511
21	23	2041	14,878	4,675	9,200	1,003	14,005	873	72,384
22	24	2042	14,705	4,488	9,200	1,017	13,657	1,048	73,432
23	25	2043	14,566	4,332	9,200	1,035	13,289	1,278	74,710
24	26	2044	14,458	4,203	9,200	1,056	12,905	1,553	76,263
25	27	2045	14,369	4,087	9,200	1,081	12,509	1,860	78,123
26	28	2046	14,304	3,993	9,200	1,111	12,102	2,202	80,325
27	29	2047	14,266	3,920	9,200	1,147	11,688	2,579	82,904
28	30	2048	14,247	3,859	9,200	1,188	11,268	2,979	85,883
29	31	2049	14,268	3,832	9,200	1,236	10,847	3,421	89,304
30	32	2050	14,287	3,797	9,200	1,290	10,427	3,861	93,165
31	33	2051	14,330	3,780	9,200	1,351	10,011	4,320	97,485
32	34	2052	14,410	3,791	9,200	1,419	9,601	4,809	102,294
33	35	2053	14,494	3,800	9,200	1,494	9,201	5,293	107,587
34	36	2054	12,295	3,819	6,900	1,577	8,811	3,485	111,072
35	37	2055	5,459	3,827	0	1,632	8,433	-2,975	108,097
36	38	2056	5,439	3,849	0	1,590	8,071	-2,632	105,465
37	39	2057	5,438	3,885	0	1,553	7,725	-2,288	103,178
38	40	2058	5,444	3,922	0	1,522	7,397	-1,953	101,225
39	41	2059	5,459	3,964	0	1,495	7,088	-1,629	99,596
40	42	2060	5,480	4,007	0	1,473	6,800	-1,320	98,276
41	43	2061	5,506	4,050	0	1,456	6,533	-1,027	97,248
42	44	2062	5,535	4,093	0	1,442	6,288	-752	96,496
43	45	2063	5,567	4,134	0	1,433	6,066	-499	95,997
44	46	2064	5,600	4,173	0	1,427	5,868	-268	95,729
45	47	2065	5,634	4,209	0	1,425	5,693	-59	95,670
46	48	2066	5,668	4,243	0	1,425	5,539	130	95,800
47	49	2067	5,704	4,275	0	1,429	5,407	297	96,096
48	50	2068	5,737	4,303	0	1,434	5,296	442	96,538
49	51	2069	5,771	4,329	0	1,442	5,203	568	97,106
50	52	2070	5,803	4,352	0	1,451	5,127	675	97,782

## ○ 年金収支と年金資産の推移（新規加入者数1,000人の場合）

<公費>	
R 3 ~ R 1 0	: 4 6 億円
R 1 1	: 6 1 億円
R 1 2 ~ R 3 5	: 9 2 億円
R 3 6	: 6 9 億円
R 3 7 ~	: (なし)



### 概要

- ・ 保険金収入は加入者死亡数の減少に伴い令和33年度までは減少するが、加入者死亡数の底に近づく令和34年度以降は増加する。
  - ・ 支出は年金受給者数の増加に伴い令和13年度まで増加するが、その後は徐々に減少傾向となる。
  - ・ 年金資産は、収支差に連動し、令和4年度から令和11年度では減少するが、公費投入額が増加する令和12年度から36年度の間は増加する。
- その後、公費の投入が令和36年度で終了するため収支差がマイナスとなることから、令和37年度から令和47年度までは年金資産が減少することとなるが、保険金と運用収入の合計額は増加傾向であることから、年金資産全体から見ると、僅かな減少に留まる。

参考 1

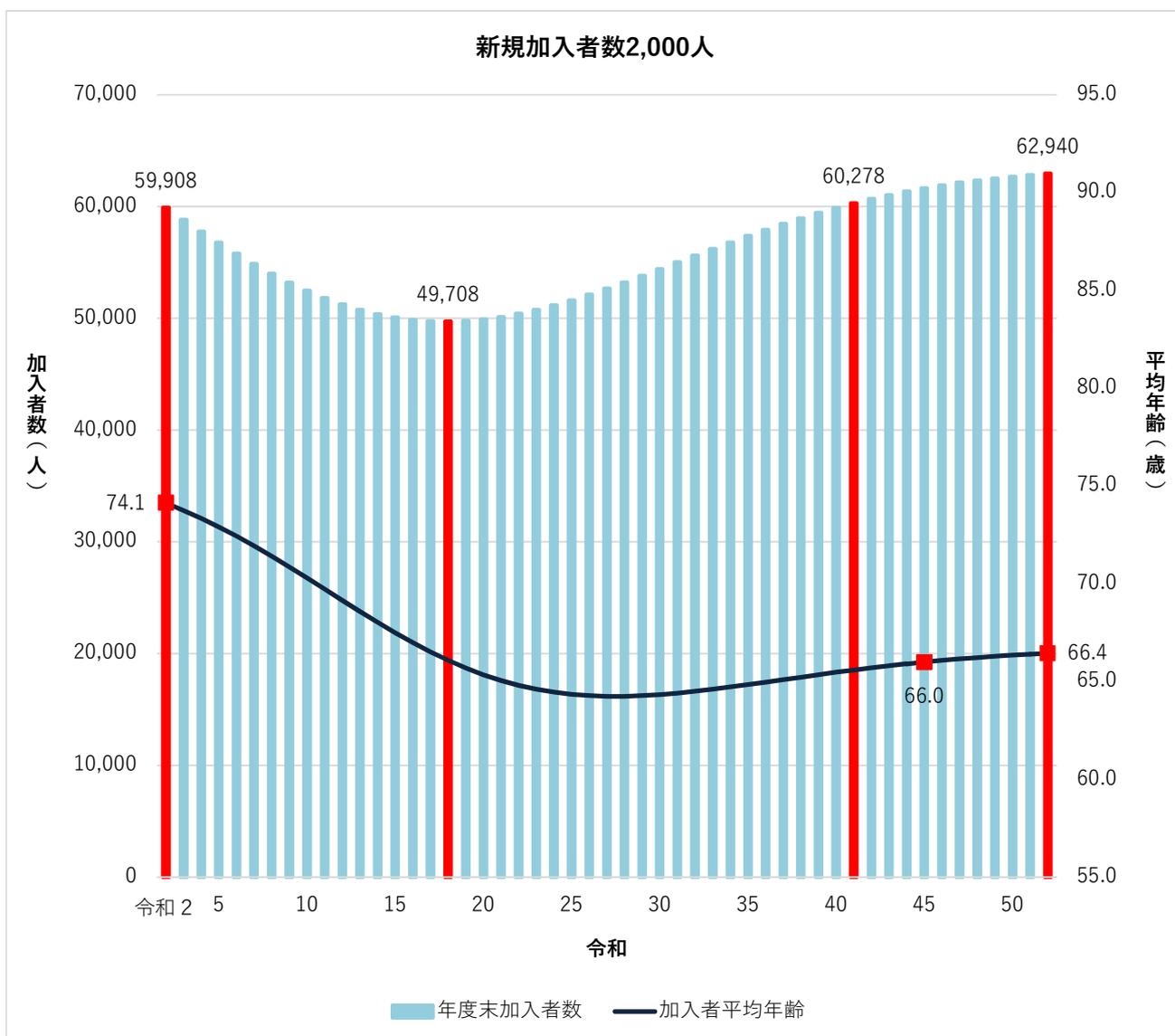
○ 人数の推移

(1) 加入者数の推移（新規加入者数2,000人の場合）

(単位：人、歳)

年次	年度		年度始 加入者数	新規 加入者数	加入者 死亡数	障害者 死亡数	脱退者数	年度末 加入者数	保険料 免除者数	平均年齢
	令和	西暦								
0	2	2020						59,908	40,867	74.1
1	3	2021	59,908	2,000	2,608	460	43	58,798	39,031	73.7
2	4	2022	58,798	2,000	2,542	451	46	57,759	37,224	73.3
3	5	2023	57,759	2,000	2,517	443	48	56,751	35,389	72.9
4	6	2024	56,751	2,000	2,485	434	51	55,781	33,682	72.4
5	7	2025	55,781	2,000	2,447	423	54	54,857	32,135	71.9
6	8	2026	54,857	2,000	2,399	411	57	53,991	30,587	71.4
7	9	2027	53,991	2,000	2,342	400	59	53,189	29,126	70.9
8	10	2028	53,189	2,000	2,280	388	62	52,460	28,550	70.3
9	11	2029	52,460	2,000	2,210	377	64	51,808	26,926	69.7
10	12	2030	51,808	2,000	2,137	365	67	51,239	25,114	69.1
11	13	2031	51,239	2,000	2,059	354	69	50,756	23,409	68.6
12	14	2032	50,756	2,000	1,977	343	71	50,365	21,729	68.0
13	15	2033	50,365	2,000	1,894	332	74	50,065	20,202	67.5
14	16	2034	50,065	2,000	1,811	322	76	49,856	18,705	67.0
15	17	2035	49,856	2,000	1,728	312	78	49,738	17,284	66.5
16	18	2036	49,738	2,000	1,647	303	80	49,708	16,067	66.1
17	19	2037	49,708	2,000	1,569	295	81	49,762	14,915	65.7
18	20	2038	49,762	2,000	1,494	288	83	49,898	14,077	65.3
19	21	2039	49,898	2,000	1,422	281	84	50,111	13,398	65.1
20	22	2040	50,111	2,000	1,356	275	85	50,394	12,833	64.8
21	23	2041	50,394	2,000	1,295	270	86	50,743	13,416	64.6
22	24	2042	50,743	2,000	1,240	265	87	51,150	13,547	64.5
23	25	2043	51,150	2,000	1,192	262	88	51,608	13,791	64.3
24	26	2044	51,608	2,000	1,151	259	88	52,110	14,096	64.3
25	27	2045	52,110	2,000	1,117	257	89	52,647	14,462	64.2
26	28	2046	52,647	2,000	1,090	256	89	53,212	14,914	64.2
27	29	2047	53,212	2,000	1,069	256	90	53,797	15,413	64.3
28	30	2048	53,797	2,000	1,054	257	90	54,396	15,955	64.3
29	31	2049	54,396	2,000	1,046	258	90	55,001	16,522	64.4
30	32	2050	55,001	2,000	1,044	260	90	55,606	17,080	64.5
31	33	2051	55,606	2,000	1,048	263	90	56,205	17,657	64.6
32	34	2052	56,205	2,000	1,058	265	91	56,791	18,230	64.7
33	35	2053	56,791	2,000	1,071	268	91	57,362	18,798	64.8
34	36	2054	57,362	2,000	1,087	272	91	57,913	19,347	65.0
35	37	2055	57,913	2,000	1,106	275	91	58,441	19,876	65.1
36	38	2056	58,441	2,000	1,128	279	91	58,944	20,380	65.2
37	39	2057	58,944	2,000	1,152	283	91	59,419	20,854	65.3
38	40	2058	59,419	2,000	1,177	287	91	59,864	21,299	65.5
39	41	2059	59,864	2,000	1,204	291	91	60,278	21,714	65.6
40	42	2060	60,278	2,000	1,231	295	91	60,662	22,098	65.7
41	43	2061	60,662	2,000	1,258	299	91	61,014	22,451	65.8
42	44	2062	61,014	2,000	1,286	302	91	61,336	22,773	65.9
43	45	2063	61,336	2,000	1,312	305	91	61,629	23,066	66.0
44	46	2064	61,629	2,000	1,338	308	91	61,892	23,329	66.1
45	47	2065	61,892	2,000	1,363	310	91	62,128	23,565	66.2
46	48	2066	62,128	2,000	1,387	313	91	62,337	23,774	66.2
47	49	2067	62,337	2,000	1,410	315	91	62,521	23,958	66.3
48	50	2068	62,521	2,000	1,431	318	91	62,682	24,119	66.4
49	51	2069	62,682	2,000	1,451	320	91	62,821	24,258	66.4
50	52	2070	62,821	2,000	1,469	322	91	62,940	24,377	66.4

○ 加入者数と平均年齢の推移（新規加入者数2,000人の場合）



概要

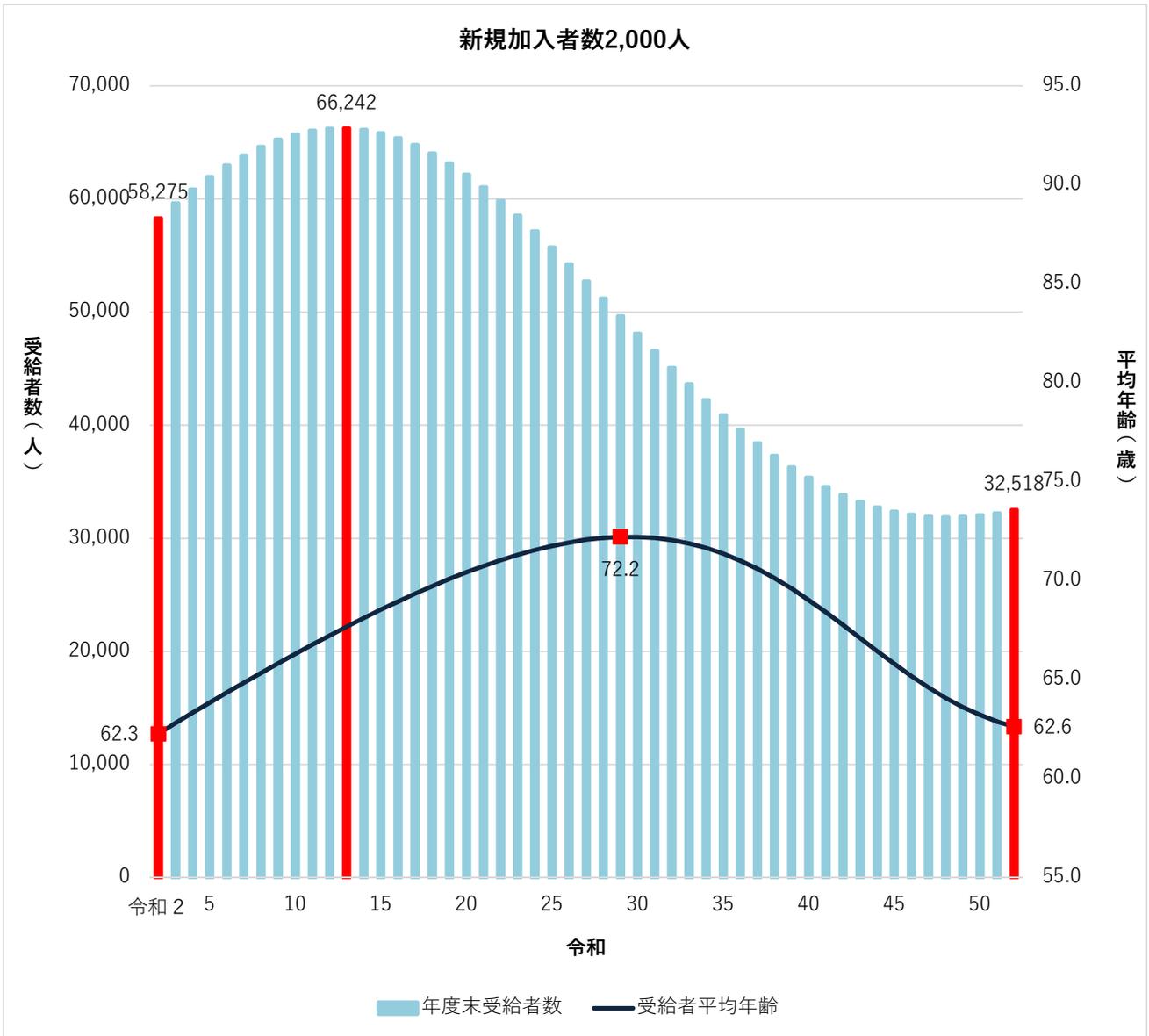
- ・ 加入者数は、加入者死亡数、障害者死亡数、脱退者数の合計が新規加入者数（2,000人）を上回る令和18年度まで減少を続けるが、令和18年度末を底に以後は増加を続け、令和41年度末には令和2年度末の水準まで回復する。
- ・ 加入者の平均年齢は、令和2年度の74.1歳をピークに、その後は徐々に低下するが、令和27年度の64.2歳以後は、緩やかに上昇する。

(2) 年金受給者数の推移（新規加入者数2,000人の場合）

(単位：人、歳、%)

年次	年度		年度始年金 受給者数	新 規 裁定者数	失権者数	年度末年金 受給者数	平均年齢	年金受給者数 ÷加入者数
	令和	西暦						
0	2	2020				58,275	62.3	97.3
1	3	2021	58,275	2,608	1,263	59,620	62.8	101.4
2	4	2022	59,620	2,542	1,330	60,832	63.3	105.3
3	5	2023	60,832	2,517	1,405	61,945	63.8	109.2
4	6	2024	61,945	2,485	1,481	62,949	64.4	112.8
5	7	2025	62,949	2,447	1,559	63,837	64.8	116.4
6	8	2026	63,837	2,399	1,637	64,598	65.3	119.6
7	9	2027	64,598	2,342	1,717	65,224	65.8	122.6
8	10	2028	65,224	2,280	1,797	65,707	66.3	125.3
9	11	2029	65,707	2,210	1,877	66,040	66.8	127.5
10	12	2030	66,040	2,137	1,957	66,220	67.2	129.2
11	13	2031	66,220	2,059	2,037	66,242	67.7	130.5
12	14	2032	66,242	1,977	2,116	66,103	68.1	131.2
13	15	2033	66,103	1,894	2,190	65,807	68.5	131.4
14	16	2034	65,807	1,811	2,261	65,356	69.0	131.1
15	17	2035	65,356	1,728	2,328	64,757	69.3	130.2
16	18	2036	64,757	1,647	2,389	64,015	69.7	128.8
17	19	2037	64,015	1,569	2,445	63,140	70.1	126.9
18	20	2038	63,140	1,494	2,493	62,140	70.4	124.5
19	21	2039	62,140	1,422	2,535	61,028	70.7	121.8
20	22	2040	61,028	1,356	2,569	59,816	71.0	118.7
21	23	2041	59,816	1,295	2,596	58,515	71.3	115.3
22	24	2042	58,515	1,240	2,615	57,141	71.6	111.7
23	25	2043	57,141	1,192	2,626	55,707	71.8	107.9
24	26	2044	55,707	1,151	2,630	54,227	71.9	104.1
25	27	2045	54,227	1,117	2,628	52,716	72.1	100.1
26	28	2046	52,716	1,090	2,623	51,183	72.2	96.2
27	29	2047	51,183	1,069	2,614	49,637	72.2	92.3
28	30	2048	49,637	1,054	2,597	48,094	72.2	88.4
29	31	2049	48,094	1,046	2,572	46,569	72.2	84.7
30	32	2050	46,569	1,044	2,539	45,073	72.1	81.1
31	33	2051	45,073	1,048	2,501	43,620	71.9	77.6
32	34	2052	43,620	1,058	2,459	42,220	71.7	74.3
33	35	2053	42,220	1,071	2,412	40,878	71.4	71.3
34	36	2054	40,878	1,087	2,360	39,605	71.0	68.4
35	37	2055	39,605	1,106	2,299	38,411	70.6	65.7
36	38	2056	38,411	1,128	2,234	37,304	70.1	63.3
37	39	2057	37,304	1,152	2,170	36,286	69.6	61.1
38	40	2058	36,286	1,177	2,099	35,365	69.0	59.1
39	41	2059	35,365	1,204	2,021	34,548	68.4	57.3
40	42	2060	34,548	1,231	1,942	33,837	67.8	55.8
41	43	2061	33,837	1,258	1,864	33,231	67.1	54.5
42	44	2062	33,231	1,286	1,781	32,736	66.4	53.4
43	45	2063	32,736	1,312	1,689	32,360	65.8	52.5
44	46	2064	32,360	1,338	1,605	32,093	65.2	51.9
45	47	2065	32,093	1,363	1,527	31,929	64.6	51.4
46	48	2066	31,929	1,387	1,448	31,868	64.1	51.1
47	49	2067	31,868	1,410	1,372	31,906	63.6	51.0
48	50	2068	31,906	1,431	1,305	32,032	63.2	51.1
49	51	2069	32,032	1,451	1,243	32,240	62.9	51.3
50	52	2070	32,240	1,469	1,190	32,518	62.6	51.7

○ 受給者数と平均年齢の推移（新規加入者数2,000人の場合）



概要

- ・ 新規裁定者数（新規年金受給者数）は加入者死亡数の減少に伴い減少を続け、令和14年度に失権者数を下回るが、令和32年度を底に以後は増加に転じ、令和49年度に失権者数を再び上回る。このため、年金受給者数は令和13年度まで年々増加するが、令和13年度末をピークとして、その後は減少を続けるが、令和48年度末を底に再び増加に転じる。
- ・ また、令和3年度末に年金受給者数（約5万9千人）が加入者数を上回り、令和27年度末まで年金受給者数が加入者数を上回る状況が継続する。
- ・ 年金受給者の平均年齢は、毎年徐々に上昇し、令和29年度の72.2歳をピークに以後は緩やかに低下する。

○ 保険収支予測

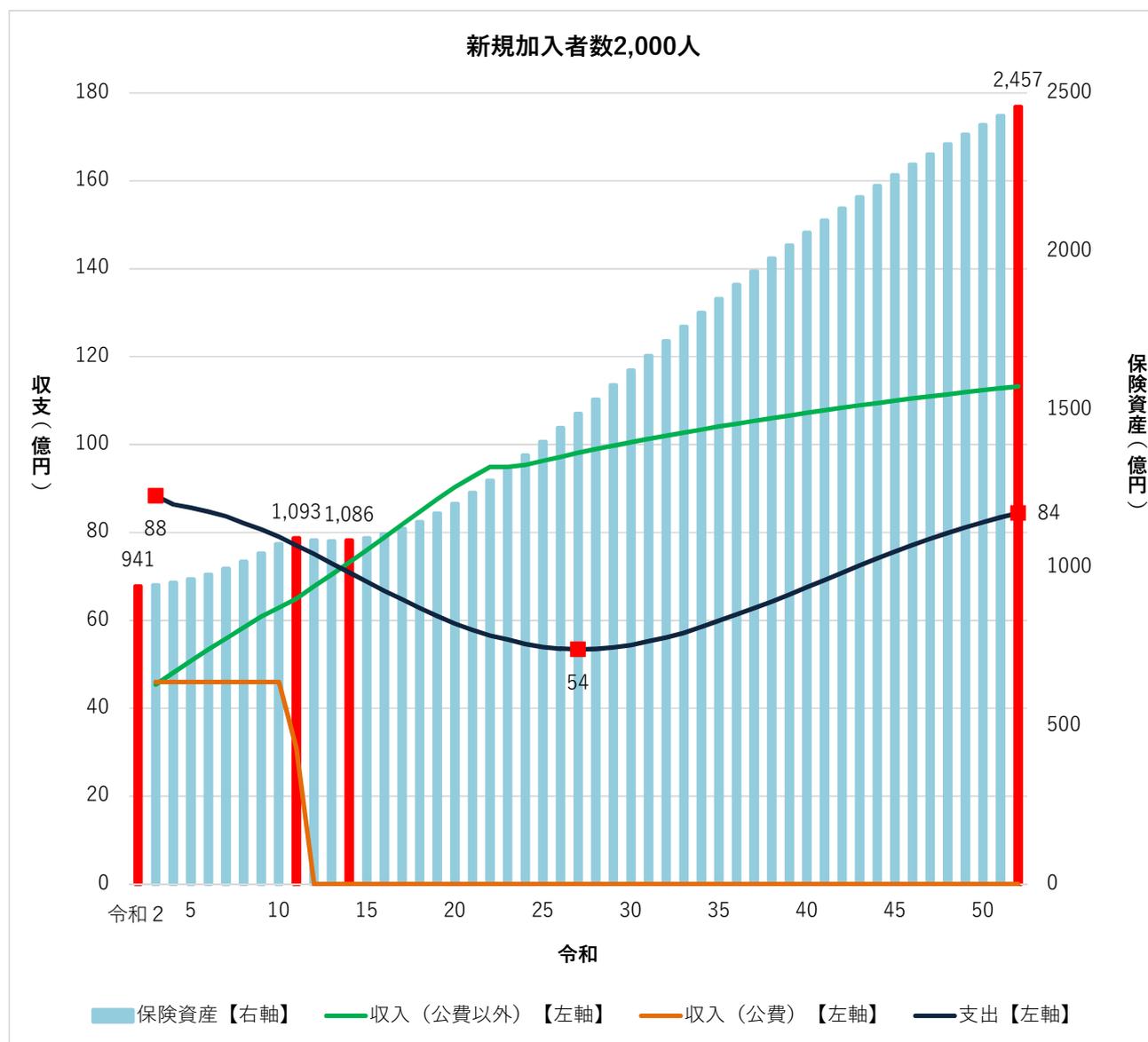
・運用利回り 1.5%（新規加入者数2,000人の場合）

（単位：百万円）

年次	年度		収入				支出計	収支差引額	保険資産
	令和	西暦	収入計	保険料	公費負担	運用収入	（保険金、弔慰金、 脱退一時金）		
0	2	2020						94,139	
1	3	2021	9,139	3,169	4,600	1,370	8,832	307	94,445
2	4	2022	9,413	3,435	4,600	1,378	8,635	778	95,224
3	5	2023	9,677	3,685	4,600	1,392	8,563	1,113	96,337
4	6	2024	9,939	3,928	4,600	1,411	8,471	1,468	97,805
5	7	2025	10,187	4,151	4,600	1,436	8,363	1,824	99,629
6	8	2026	10,434	4,368	4,600	1,466	8,211	2,223	101,852
7	9	2027	10,688	4,586	4,600	1,502	8,072	2,616	104,468
8	10	2028	10,886	4,743	4,600	1,543	7,897	2,989	107,457
9	11	2029	9,592	4,901	3,100	1,591	7,703	1,889	109,346
10	12	2030	6,773	5,150	0	1,623	7,511	-738	108,608
11	13	2031	7,042	5,427	0	1,615	7,297	-256	108,352
12	14	2032	7,318	5,703	0	1,615	7,089	230	108,582
13	15	2033	7,600	5,978	0	1,622	6,877	723	109,305
14	16	2034	7,887	6,250	0	1,636	6,667	1,219	110,525
15	17	2035	8,182	6,524	0	1,658	6,478	1,704	112,229
16	18	2036	8,473	6,785	0	1,687	6,279	2,194	114,423
17	19	2037	8,759	7,036	0	1,723	6,098	2,662	117,085
18	20	2038	9,028	7,262	0	1,766	5,927	3,101	120,186
19	21	2039	9,265	7,450	0	1,815	5,783	3,482	123,668
20	22	2040	9,492	7,623	0	1,870	5,652	3,840	127,508
21	23	2041	9,490	7,563	0	1,928	5,563	3,927	131,435
22	24	2042	9,532	7,545	0	1,987	5,458	4,074	135,509
23	25	2043	9,628	7,580	0	2,049	5,391	4,238	139,746
24	26	2044	9,720	7,607	0	2,113	5,356	4,364	144,111
25	27	2045	9,810	7,631	0	2,179	5,339	4,471	148,582
26	28	2046	9,895	7,649	0	2,246	5,348	4,547	153,129
27	29	2047	9,976	7,662	0	2,314	5,384	4,592	157,721
28	30	2048	10,053	7,670	0	2,383	5,436	4,617	162,338
29	31	2049	10,127	7,676	0	2,451	5,525	4,602	166,940
30	32	2050	10,200	7,681	0	2,520	5,611	4,589	171,528
31	33	2051	10,272	7,684	0	2,588	5,717	4,555	176,084
32	34	2052	10,341	7,686	0	2,655	5,854	4,487	180,570
33	35	2053	10,409	7,687	0	2,721	5,990	4,419	184,989
34	36	2054	10,474	7,688	0	2,786	6,138	4,337	189,326
35	37	2055	10,538	7,688	0	2,850	6,275	4,263	193,589
36	38	2056	10,601	7,688	0	2,913	6,425	4,176	197,765
37	39	2057	10,662	7,688	0	2,975	6,587	4,075	201,840
38	40	2058	10,722	7,688	0	3,035	6,752	3,970	205,810
39	41	2059	10,780	7,687	0	3,093	6,919	3,862	209,672
40	42	2060	10,837	7,687	0	3,150	7,085	3,752	213,424
41	43	2061	10,892	7,687	0	3,205	7,249	3,643	217,067
42	44	2062	10,945	7,687	0	3,258	7,410	3,536	220,603
43	45	2063	10,997	7,687	0	3,310	7,565	3,432	224,035
44	46	2064	11,048	7,687	0	3,360	7,714	3,334	227,369
45	47	2065	11,097	7,687	0	3,409	7,856	3,241	230,610
46	48	2066	11,144	7,687	0	3,457	7,990	3,154	233,764
47	49	2067	11,191	7,687	0	3,503	8,117	3,074	236,837
48	50	2068	11,236	7,687	0	3,548	8,234	3,002	239,840
49	51	2069	11,280	7,687	0	3,593	8,341	2,939	242,778
50	52	2070	11,323	7,687	0	3,636	8,439	2,884	245,662

## ○ 保険収支と保険資産の推移（新規加入者数2,000人の場合）

<公費>  
 R 3 ~ R 1 0 : 4 6 億円  
 R 1 1 : 3 1 億円  
 R 1 2 ~ : (なし)



### 概要

- ・ 公費以外の収入（保険料及び運用収入の合計）は、概ね増加傾向となる。
- ・ 支出(保険金、弔慰金及び脱退一時金)は、主に加入者死亡数の減少に伴う保険金支出の減少等により、令和27年度まで減少を続けるが、その後は増加し続ける。
- ・ 保険資産は収支差に連動し、公費負担終了後の令和12及び13年度は一時的に減少するが、1,000人推計よりも10年早い令和14年度からは再び増加に転じる。

○ 年金収支予測

・運用利回り 1.5%（新規加入者数2,000人の場合）

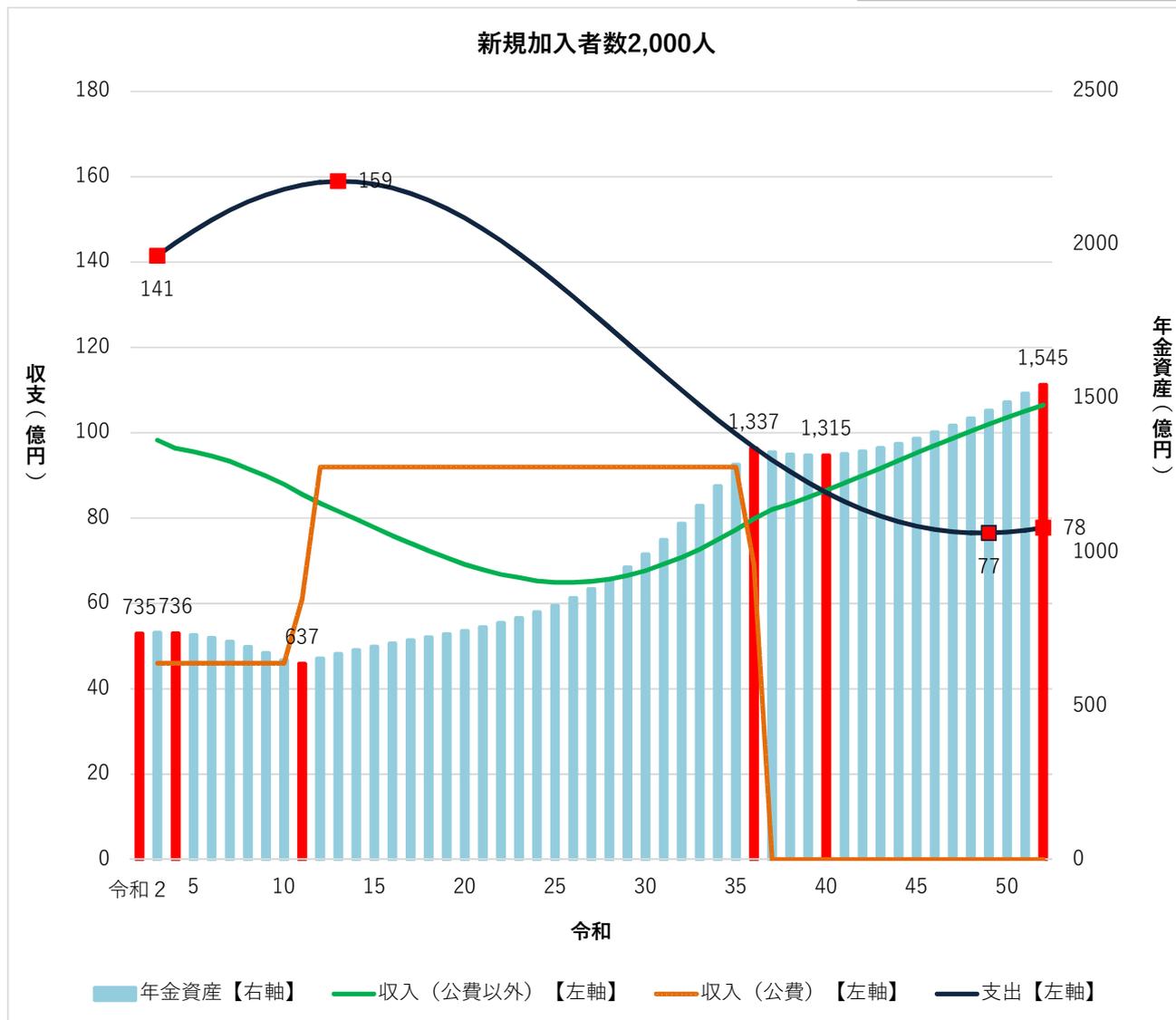
（単位：百万円）

年次	年度		収入				支出	収支差引額	年金資産
	令和	西暦	収入計	保険金	公費負担	運用収入			
0	2	2020							73,526
1	3	2021	14,429	8,767	4,600	1,063	14,147	282	73,808
2	4	2022	14,234	8,571	4,600	1,063	14,454	-220	73,588
3	5	2023	14,159	8,501	4,600	1,057	14,733	-575	73,014
4	6	2024	14,056	8,410	4,600	1,046	14,987	-931	72,083
5	7	2025	13,933	8,303	4,600	1,030	15,214	-1,281	70,801
6	8	2026	13,761	8,153	4,600	1,008	15,412	-1,651	69,150
7	9	2027	13,595	8,015	4,600	981	15,579	-1,983	67,167
8	10	2028	13,389	7,840	4,600	949	15,712	-2,323	64,844
9	11	2029	14,660	7,648	6,100	912	15,810	-1,150	63,694
10	12	2030	17,549	7,457	9,200	893	15,871	1,678	65,372
11	13	2031	17,361	7,245	9,200	916	15,895	1,465	66,837
12	14	2032	17,174	7,037	9,200	936	15,881	1,292	68,130
13	15	2033	16,981	6,827	9,200	955	15,829	1,152	69,282
14	16	2034	16,790	6,619	9,200	971	15,740	1,050	70,332
15	17	2035	16,617	6,430	9,200	986	15,614	1,003	71,335
16	18	2036	16,434	6,232	9,200	1,001	15,453	981	72,316
17	19	2037	16,268	6,052	9,200	1,016	15,259	1,010	73,326
18	20	2038	16,114	5,882	9,200	1,032	15,034	1,080	74,406
19	21	2039	15,988	5,739	9,200	1,049	14,780	1,208	75,614
20	22	2040	15,877	5,609	9,200	1,068	14,501	1,376	76,989
21	23	2041	15,809	5,519	9,200	1,090	14,200	1,609	78,598
22	24	2042	15,730	5,414	9,200	1,116	13,879	1,851	80,449
23	25	2043	15,692	5,346	9,200	1,146	13,542	2,150	82,599
24	26	2044	15,691	5,311	9,200	1,180	13,192	2,499	85,098
25	27	2045	15,713	5,293	9,200	1,220	12,833	2,880	87,978
26	28	2046	15,768	5,302	9,200	1,266	12,468	3,300	91,278
27	29	2047	15,855	5,337	9,200	1,319	12,098	3,757	95,035
28	30	2048	15,966	5,388	9,200	1,378	11,728	4,238	99,273
29	31	2049	16,122	5,476	9,200	1,445	11,360	4,762	104,035
30	32	2050	16,281	5,562	9,200	1,520	10,997	5,284	109,320
31	33	2051	16,468	5,666	9,200	1,603	10,643	5,825	115,145
32	34	2052	16,696	5,802	9,200	1,694	10,301	6,395	121,540
33	35	2053	16,930	5,937	9,200	1,793	9,972	6,958	128,498
34	36	2054	14,884	6,083	6,900	1,901	9,658	5,226	133,724
35	37	2055	8,202	6,219	0	1,982	9,362	-1,160	132,564
36	38	2056	8,336	6,368	0	1,968	9,086	-750	131,814
37	39	2057	8,489	6,529	0	1,960	8,831	-342	131,472
38	40	2058	8,651	6,693	0	1,958	8,598	53	131,525
39	41	2059	8,820	6,858	0	1,961	8,389	430	131,955
40	42	2060	8,994	7,023	0	1,970	8,206	788	132,743
41	43	2061	9,171	7,186	0	1,985	8,048	1,123	133,866
42	44	2062	9,350	7,346	0	2,004	7,916	1,434	135,299
43	45	2063	9,528	7,501	0	2,027	7,812	1,716	137,016
44	46	2064	9,703	7,649	0	2,055	7,734	1,969	138,985
45	47	2065	9,875	7,790	0	2,086	7,683	2,193	141,177
46	48	2066	10,043	7,923	0	2,120	7,656	2,387	143,565
47	49	2067	10,206	8,050	0	2,156	7,653	2,553	146,118
48	50	2068	10,361	8,166	0	2,195	7,673	2,689	148,807
49	51	2069	10,509	8,273	0	2,236	7,713	2,796	151,603
50	52	2070	10,649	8,370	0	2,279	7,771	2,878	154,481

## ○ 年金収支と年金資産の推移（新規加入者数2,000人の場合）

<公費>

R 3 ~ R 1 0	: 4.6 億円
R 1 1	: 6.1 億円
R 1 2 ~ R 3 5	: 9.2 億円
R 3 6	: 6.9 億円
R 3 7 ~	: (なし)



### 概要

- ・ 保険金収入は加入者死亡数の減少に伴い令和 2 7 年度までは減少するが、加入者死亡数の底に近づく令和 2 8 年度以降は増加にする。
  - ・ 支出は年金受給者数の増加に伴い令和 1 3 年度まで増加するが、その後は徐々に減少傾向となる。
  - ・ 年金資産は収支差に連動し、令和 4 年度から令和 1 1 年度では減少するが、公費投入額が増加する令和 1 2 年度から 3 6 年度の間は増加する。
- その後、公費の投入が令和 3 6 年度で終了するため、収支差がマイナスとなることから、令和 3 7 年度から令和 3 9 年度までは年金資産が減少することとなるが、保険金と運用収入の合計額は増加傾向であることから、年金資産全体から見ると、僅かな減少に留まる。

参考 2

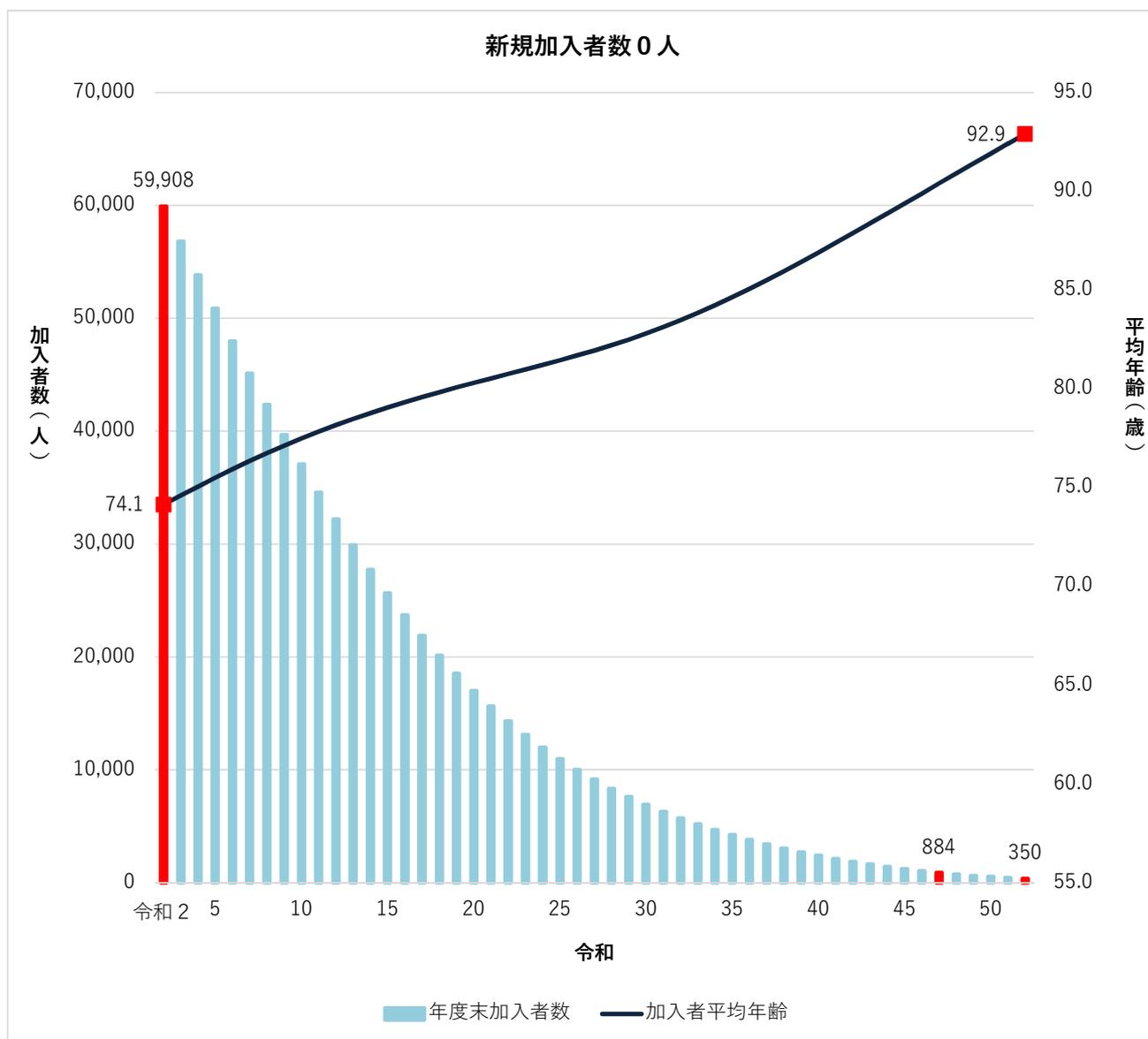
○ 人数の推移

(1) 加入者数の推移 (現在加入者のみの場合)

(単位：人、歳)

年次	年度		年度始 加入者数	新規 加入者数	加入者 死亡数	障害者 死亡数	脱退者数	年度末 加入者数	保険料 免除者数	平均年齢
	令和	西暦								
0	2	2020					59,908	40,867	74.1	
1	3	2021	59,908	0	2,604	452	37	56,815	39,031	74.6
2	4	2022	56,815	0	2,535	436	34	53,810	37,224	75.1
3	5	2023	53,810	0	2,505	421	31	50,853	35,389	75.5
4	6	2024	50,853	0	2,468	405	29	47,950	33,682	75.9
5	7	2025	47,950	0	2,425	388	26	45,111	32,135	76.4
6	8	2026	45,111	0	2,371	370	24	42,347	30,587	76.7
7	9	2027	42,347	0	2,308	352	22	39,665	29,126	77.1
8	10	2028	39,665	0	2,239	334	20	37,072	28,550	77.5
9	11	2029	37,072	0	2,162	316	18	34,576	26,926	77.8
10	12	2030	34,576	0	2,080	299	16	32,182	25,114	78.2
11	13	2031	32,182	0	1,993	281	14	29,893	23,409	78.5
12	14	2032	29,893	0	1,900	264	13	27,716	21,729	78.8
13	15	2033	27,716	0	1,806	247	11	25,651	20,202	79.1
14	16	2034	25,651	0	1,711	231	10	23,699	18,705	79.3
15	17	2035	23,699	0	1,615	215	9	21,861	17,284	79.6
16	18	2036	21,861	0	1,519	200	8	20,134	16,067	79.8
17	19	2037	20,134	0	1,424	186	6	18,518	14,915	80.1
18	20	2038	18,518	0	1,331	172	5	17,009	14,077	80.3
19	21	2039	17,009	0	1,240	159	4	15,606	13,398	80.5
20	22	2040	15,606	0	1,152	147	4	14,304	12,833	80.8
21	23	2041	14,304	0	1,068	135	3	13,098	12,365	81.0
22	24	2042	13,098	0	988	124	2	11,984	11,387	81.2
23	25	2043	11,984	0	912	114	2	10,956	10,489	81.4
24	26	2044	10,956	0	842	104	1	10,009	9,652	81.7
25	27	2045	10,009	0	776	96	1	9,136	8,884	81.9
26	28	2046	9,136	0	716	88	1	8,332	8,149	82.2
27	29	2047	8,332	0	659	80	1	7,592	7,455	82.5
28	30	2048	7,592	0	607	74	0	6,910	6,815	82.8
29	31	2049	6,910	0	560	68	0	6,282	6,230	83.1
30	32	2050	6,282	0	516	62	0	5,703	5,672	83.5
31	33	2051	5,703	0	478	57	0	5,168	5,150	83.8
32	34	2052	5,168	0	443	52	0	4,673	4,661	84.2
33	35	2053	4,673	0	410	48	0	4,215	4,208	84.6
34	36	2054	4,215	0	379	44	0	3,792	3,787	85.1
35	37	2055	3,792	0	351	40	0	3,401	3,399	85.5
36	38	2056	3,401	0	325	36	0	3,040	3,038	86.0
37	39	2057	3,040	0	300	33	0	2,706	2,705	86.4
38	40	2058	2,706	0	277	30	0	2,399	2,397	86.9
39	41	2059	2,399	0	255	28	0	2,116	2,115	87.4
40	42	2060	2,116	0	234	25	0	1,857	1,856	87.9
41	43	2061	1,857	0	214	22	0	1,621	1,621	88.4
42	44	2062	1,621	0	195	20	0	1,406	1,406	88.9
43	45	2063	1,406	0	176	18	0	1,212	1,212	89.4
44	46	2064	1,212	0	158	15	0	1,039	1,039	89.9
45	47	2065	1,039	0	142	13	0	884	884	90.4
46	48	2066	884	0	126	12	0	746	746	90.9
47	49	2067	746	0	111	10	0	625	625	91.4
48	50	2068	625	0	97	9	0	520	520	91.9
49	51	2069	520	0	84	8	0	429	429	92.4
50	52	2070	429	0	72	6	0	350	350	92.9

○ 加入者数と平均年齢の推移（現在加入者のみの場合）



概要

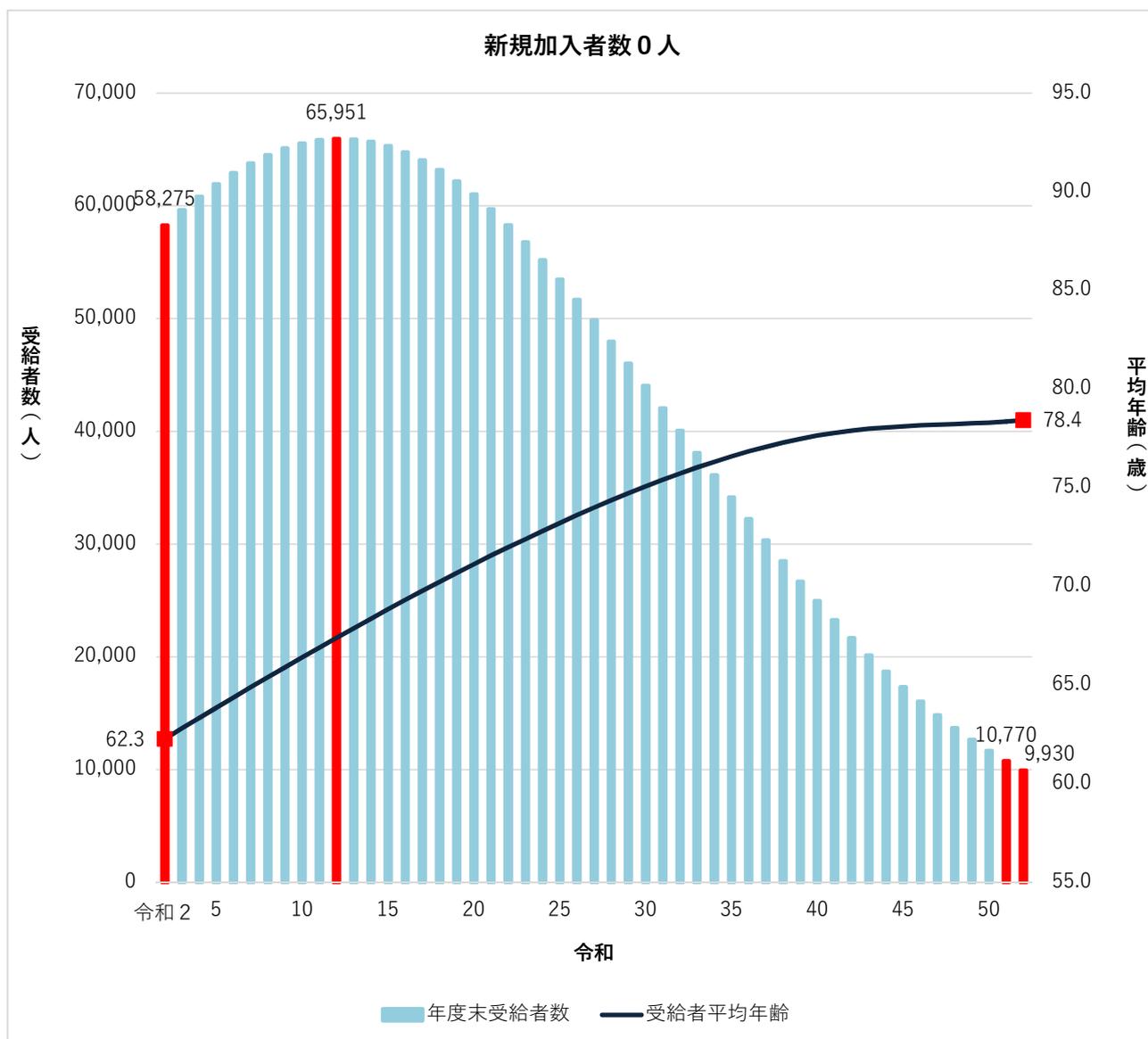
- ・ 新規加入者がいないことから、加入者数の減少速度が速く、令和 47 年度末には加入者数が 1, 0 0 0 人を割り込む。
- ・ 平均年齢は、新規加入者がいないことから上昇し続ける。

(2) 年金受給者数の推移（現在加入者のみの場合）

（単位：人、歳、％）

年次	年度		年度始年金 受給者数	新 規 裁定者数	失権者数	年度末年金 受給者数	平均年齢	年金受給者数 ÷加入者数
	令和	西暦						
0	2	2020				58,275	62.3	97.3
1	3	2021	58,275	2,604	1,263	59,617	62.8	104.9
2	4	2022	59,617	2,535	1,330	60,821	63.3	113.0
3	5	2023	60,821	2,505	1,405	61,921	63.9	121.8
4	6	2024	61,921	2,468	1,481	62,908	64.4	131.2
5	7	2025	62,908	2,425	1,559	63,774	64.9	141.4
6	8	2026	63,774	2,371	1,637	64,508	65.4	152.3
7	9	2027	64,508	2,308	1,716	65,100	65.9	164.1
8	10	2028	65,100	2,239	1,796	65,542	66.4	176.8
9	11	2029	65,542	2,162	1,877	65,827	66.9	190.4
10	12	2030	65,827	2,080	1,956	65,951	67.4	204.9
11	13	2031	65,951	1,993	2,036	65,907	67.9	220.5
12	14	2032	65,907	1,900	2,114	65,693	68.4	237.0
13	15	2033	65,693	1,806	2,189	65,311	68.8	254.6
14	16	2034	65,311	1,711	2,259	64,762	69.3	273.3
15	17	2035	64,762	1,615	2,325	64,052	69.8	293.0
16	18	2036	64,052	1,519	2,386	63,184	70.2	313.8
17	19	2037	63,184	1,424	2,441	62,167	70.7	335.7
18	20	2038	62,167	1,331	2,489	61,008	71.1	358.7
19	21	2039	61,008	1,240	2,530	59,718	71.6	382.7
20	22	2040	59,718	1,152	2,563	58,307	72.0	407.6
21	23	2041	58,307	1,068	2,589	56,786	72.4	433.6
22	24	2042	56,786	988	2,606	55,167	72.8	460.4
23	25	2043	55,167	912	2,616	53,463	73.2	488.0
24	26	2044	53,463	842	2,619	51,685	73.6	516.4
25	27	2045	51,685	776	2,614	49,847	74.0	545.6
26	28	2046	49,847	716	2,607	47,955	74.4	575.6
27	29	2047	47,955	659	2,596	46,019	74.7	606.2
28	30	2048	46,019	607	2,575	44,051	75.1	637.5
29	31	2049	44,051	560	2,546	42,064	75.4	669.6
30	32	2050	42,064	516	2,510	40,070	75.7	702.6
31	33	2051	40,070	478	2,468	38,080	76.0	736.8
32	34	2052	38,080	443	2,420	36,103	76.3	772.6
33	35	2053	36,103	410	2,368	34,146	76.6	810.1
34	36	2054	34,146	379	2,309	32,216	76.8	849.6
35	37	2055	32,216	351	2,242	30,325	77.1	891.6
36	38	2056	30,325	325	2,169	28,481	77.3	936.9
37	39	2057	28,481	300	2,096	26,685	77.5	986.0
38	40	2058	26,685	277	2,015	24,947	77.6	1,040.0
39	41	2059	24,947	255	1,927	23,276	77.8	1,099.9
40	42	2060	23,276	234	1,837	21,673	77.9	1,167.1
41	43	2061	21,673	214	1,746	20,141	78.0	1,242.8
42	44	2062	20,141	195	1,650	18,685	78.1	1,328.9
43	45	2063	18,685	176	1,544	17,318	78.1	1,428.4
44	46	2064	17,318	158	1,445	16,031	78.2	1,543.6
45	47	2065	16,031	142	1,350	14,823	78.2	1,677.6
46	48	2066	14,823	126	1,254	13,695	78.2	1,834.9
47	49	2067	13,695	111	1,158	12,647	78.3	2,022.1
48	50	2068	12,647	97	1,071	11,673	78.3	2,244.8
49	51	2069	11,673	84	987	10,770	78.4	2,512.6
50	52	2070	10,770	72	911	9,930	78.4	2,836.5

○ 受給者数と平均年齢の推移（現在加入者のみの場合）



概要

- ・ 1, 0 0 0 人推計と比較すると、年次が進むごとに新規裁定者数の減少幅が大きくなり、受給者数は、令和 5 1 年に 1, 0 0 0 人推計の約半分(1. 1 万人)となる。
- ・ 平均年齢は上昇し続ける。

○ 保険収支予測

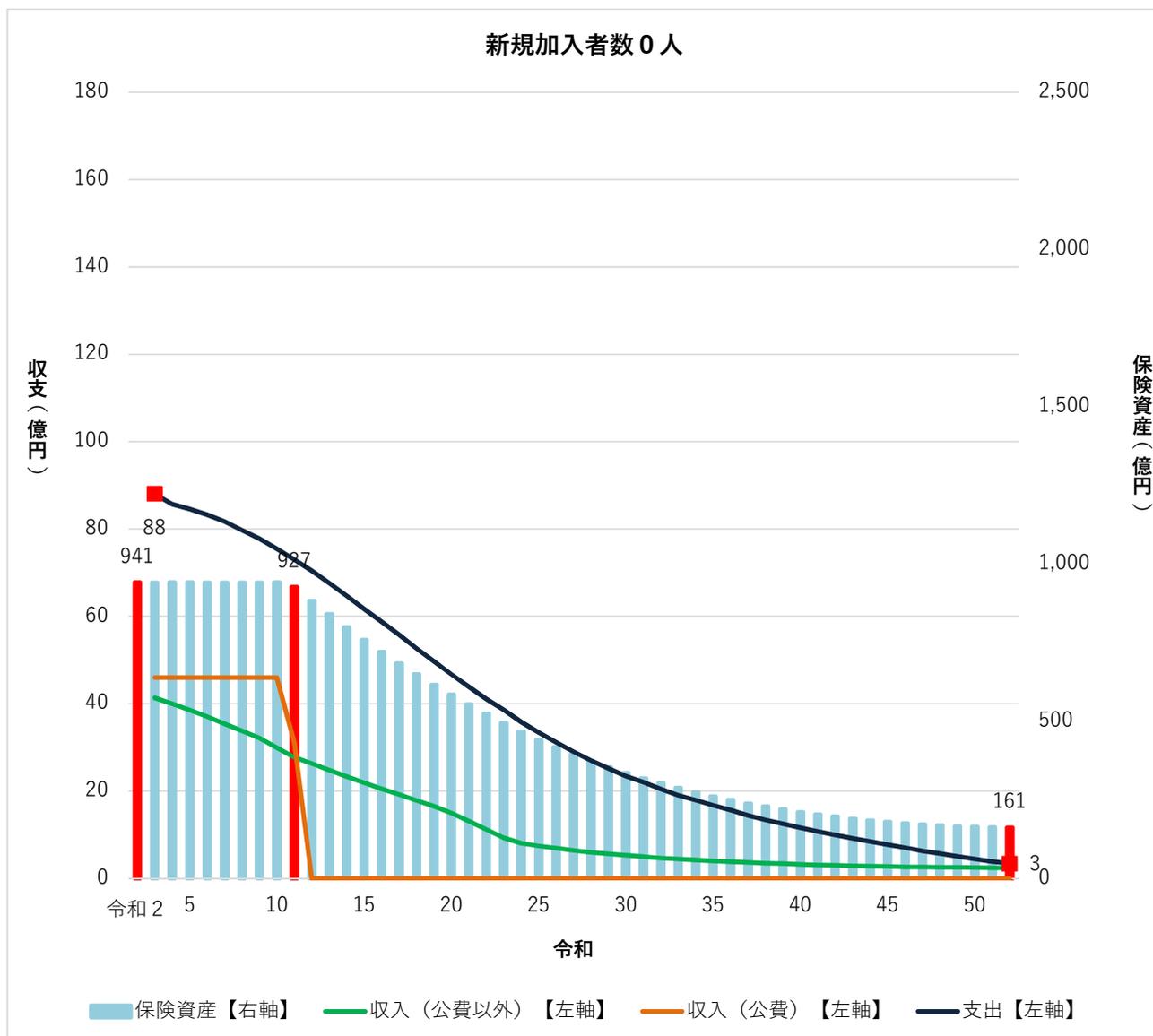
・運用利回り 1.5% (現在加入者のみの場合)

(単位：百万円)

年次	年度		収入				支出計	収支差引額	保険資産
	令和	西暦	収入計	保険料	公費負担	運用収入	(保険金、弔慰金、 脱退一時金)		
0	2	2020	0					94,139	
1	3	2021	8,733	2,766	4,600	1,367	8,800	-67	94,072
2	4	2022	8,600	2,634	4,600	1,367	8,568	32	94,104
3	5	2023	8,454	2,487	4,600	1,367	8,459	-4	94,100
4	6	2024	8,305	2,338	4,600	1,367	8,325	-21	94,079
5	7	2025	8,139	2,173	4,600	1,366	8,173	-34	94,046
6	8	2026	7,971	2,005	4,600	1,366	7,973	-2	94,044
7	9	2027	7,808	1,841	4,600	1,366	7,782	26	94,069
8	10	2028	7,588	1,621	4,600	1,367	7,551	36	94,105
9	11	2029	5,873	1,406	3,100	1,368	7,297	-1,424	92,681
10	12	2030	2,632	1,285	0	1,347	7,039	-4,407	88,274
11	13	2031	2,478	1,195	0	1,283	6,754	-4,277	83,998
12	14	2032	2,330	1,110	0	1,220	6,467	-4,137	79,861
13	15	2033	2,188	1,028	0	1,159	6,170	-3,983	75,878
14	16	2034	2,049	948	0	1,101	5,868	-3,818	72,060
15	17	2035	1,920	874	0	1,046	5,577	-3,657	68,403
16	18	2036	1,786	793	0	993	5,268	-3,482	64,921
17	19	2037	1,649	707	0	942	4,968	-3,319	61,602
18	20	2038	1,495	602	0	894	4,669	-3,173	58,429
19	21	2039	1,312	465	0	847	4,386	-3,074	55,355
20	22	2040	1,121	319	0	802	4,106	-2,984	52,371
21	23	2041	930	172	0	758	3,856	-2,926	49,445
22	24	2042	803	87	0	716	3,583	-2,780	46,665
23	25	2043	744	69	0	676	3,337	-2,593	44,072
24	26	2044	690	52	0	638	3,113	-2,423	41,649
25	27	2045	641	37	0	603	2,899	-2,258	39,391
26	28	2046	597	26	0	571	2,700	-2,103	37,288
27	29	2047	559	19	0	541	2,517	-1,958	35,330
28	30	2048	526	13	0	513	2,344	-1,818	33,512
29	31	2049	495	8	0	486	2,200	-1,705	31,807
30	32	2050	466	5	0	462	2,045	-1,578	30,228
31	33	2051	442	3	0	439	1,904	-1,462	28,766
32	34	2052	420	2	0	418	1,790	-1,371	27,396
33	35	2053	400	1	0	398	1,673	-1,273	26,123
34	36	2054	381	1	0	380	1,563	-1,182	24,940
35	37	2055	364	0	0	363	1,443	-1,079	23,861
36	38	2056	348	0	0	348	1,338	-990	22,871
37	39	2057	334	0	0	334	1,247	-913	21,958
38	40	2058	321	0	0	321	1,158	-837	21,121
39	41	2059	309	0	0	309	1,076	-767	20,355
40	42	2060	298	0	0	298	996	-698	19,657
41	43	2061	288	0	0	288	919	-631	19,026
42	44	2062	279	0	0	279	844	-565	18,461
43	45	2063	271	0	0	271	771	-500	17,961
44	46	2064	264	0	0	264	700	-436	17,525
45	47	2065	258	0	0	258	631	-373	17,152
46	48	2066	253	0	0	253	565	-312	16,840
47	49	2067	249	0	0	249	503	-254	16,586
48	50	2068	245	0	0	245	443	-198	16,388
49	51	2069	243	0	0	243	387	-144	16,244
50	52	2070	241	0	0	241	335	-94	16,150

○ 保険収支と保険資産の推移（現在加入者のみの場合）

<公費>	
R 3 ~R 1 0	: 4 6 億円
R 1 1	: 3 1 億円
R 1 2 ~	: (なし)



概要

- ・ 1, 0 0 0 人推計と比較すると、新規加入者がいないため、保険料収入は年々減少を続ける。
- ・ 支出も同様に減少を続ける。
- ・ 収支差はほぼマイナスとなり、資産を取り崩し続けることになる。

○ 年金収支予測

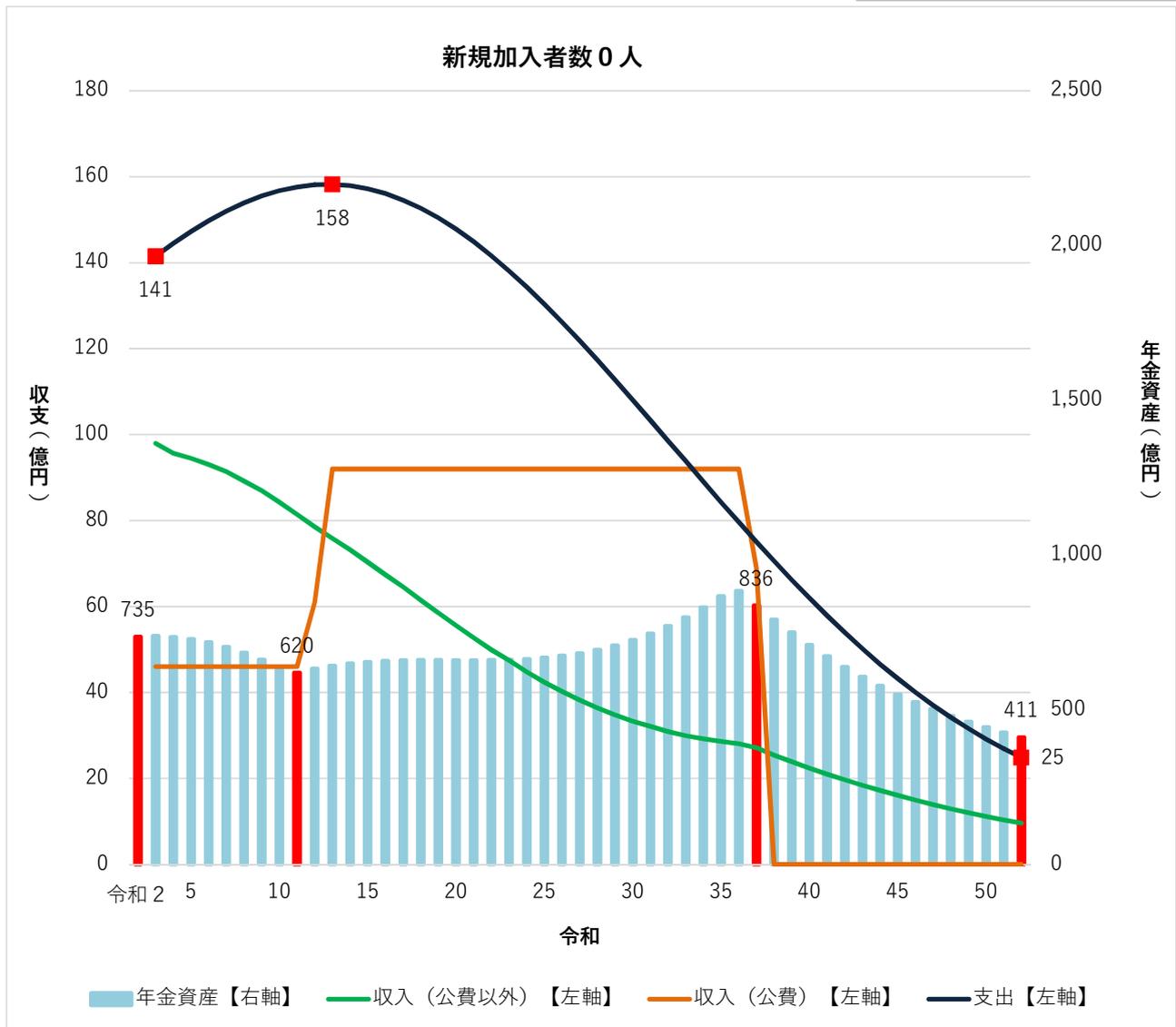
・運用利回り 1.5% (現在加入者のみの場合)

(単位：百万円)

年次	年度		収入				支出	収支差引額	年金資産
	令和	西暦	収入計	保険金	公費負担	運用収入			
0	2	2020				0	0	0	73,526
1	3	2021	14,397	8,735	4,600	1,062	14,147	250	73,777
2	4	2022	14,167	8,505	4,600	1,062	14,452	-286	73,491
3	5	2023	14,052	8,397	4,600	1,055	14,729	-677	72,814
4	6	2024	13,908	8,266	4,600	1,042	14,979	-1,072	71,743
5	7	2025	13,738	8,115	4,600	1,023	15,202	-1,464	70,279
6	8	2026	13,516	7,917	4,600	998	15,394	-1,878	68,401
7	9	2027	13,296	7,728	4,600	968	15,553	-2,257	66,144
8	10	2028	13,031	7,500	4,600	931	15,677	-2,646	63,497
9	11	2029	14,236	7,248	6,100	889	15,764	-1,528	61,969
10	12	2030	17,056	6,992	9,200	864	15,813	1,242	63,212
11	13	2031	16,790	6,710	9,200	880	15,823	967	64,179
12	14	2032	16,518	6,425	9,200	893	15,792	726	64,905
13	15	2033	16,233	6,131	9,200	902	15,720	513	65,418
14	16	2034	15,939	5,831	9,200	908	15,609	331	65,748
15	17	2035	15,655	5,543	9,200	912	15,458	197	65,946
16	18	2036	15,350	5,236	9,200	914	15,268	81	66,027
17	19	2037	15,053	4,938	9,200	915	15,042	11	66,038
18	20	2038	14,755	4,641	9,200	915	14,781	-26	66,012
19	21	2039	14,474	4,360	9,200	915	14,487	-13	66,000
20	22	2040	14,195	4,081	9,200	915	14,163	32	66,032
21	23	2041	13,948	3,832	9,200	916	13,811	137	66,169
22	24	2042	13,680	3,561	9,200	919	13,434	246	66,415
23	25	2043	13,441	3,317	9,200	924	13,036	405	66,820
24	26	2044	13,226	3,095	9,200	931	12,618	608	67,428
25	27	2045	13,024	2,882	9,200	942	12,184	840	68,268
26	28	2046	12,840	2,684	9,200	956	11,736	1,104	69,372
27	29	2047	12,678	2,502	9,200	975	11,277	1,401	70,772
28	30	2048	12,529	2,331	9,200	998	10,808	1,720	72,493
29	31	2049	12,414	2,188	9,200	1,027	10,334	2,080	74,573
30	32	2050	12,293	2,033	9,200	1,060	9,856	2,437	77,010
31	33	2051	12,192	1,893	9,200	1,099	9,378	2,814	79,825
32	34	2052	12,125	1,780	9,200	1,144	8,902	3,222	83,047
33	35	2053	12,059	1,663	9,200	1,195	8,430	3,629	86,676
34	36	2054	9,707	1,555	6,900	1,252	7,963	1,743	88,420
35	37	2055	2,716	1,435	0	1,281	7,505	-4,789	83,630
36	38	2056	2,543	1,331	0	1,212	7,057	-4,514	79,116
37	39	2057	2,386	1,240	0	1,147	6,620	-4,234	74,883
38	40	2058	2,237	1,152	0	1,086	6,196	-3,959	70,924
39	41	2059	2,098	1,070	0	1,029	5,787	-3,688	67,236
40	42	2060	1,966	991	0	976	5,394	-3,427	63,808
41	43	2061	1,840	914	0	926	5,018	-3,177	60,631
42	44	2062	1,720	840	0	881	4,659	-2,939	57,692
43	45	2063	1,606	767	0	839	4,320	-2,714	54,978
44	46	2064	1,497	697	0	800	4,002	-2,505	52,473
45	47	2065	1,393	628	0	764	3,702	-2,310	50,163
46	48	2066	1,294	563	0	731	3,422	-2,128	48,035
47	49	2067	1,201	501	0	701	3,161	-1,960	46,075
48	50	2068	1,114	441	0	673	2,918	-1,805	44,270
49	51	2069	1,032	386	0	647	2,693	-1,661	42,610
50	52	2070	957	334	0	623	2,484	-1,527	41,083

## ○ 年金収支と年金資産の推移（現在加入者のみの場合）

<公費>	
R 3 ~ R 1 0	: 4 6 億円
R 1 1	: 6 1 億円
R 1 2 ~ R 3 5	: 9 2 億円
R 3 6	: 6 9 億円
R 3 7 ~	: (なし)

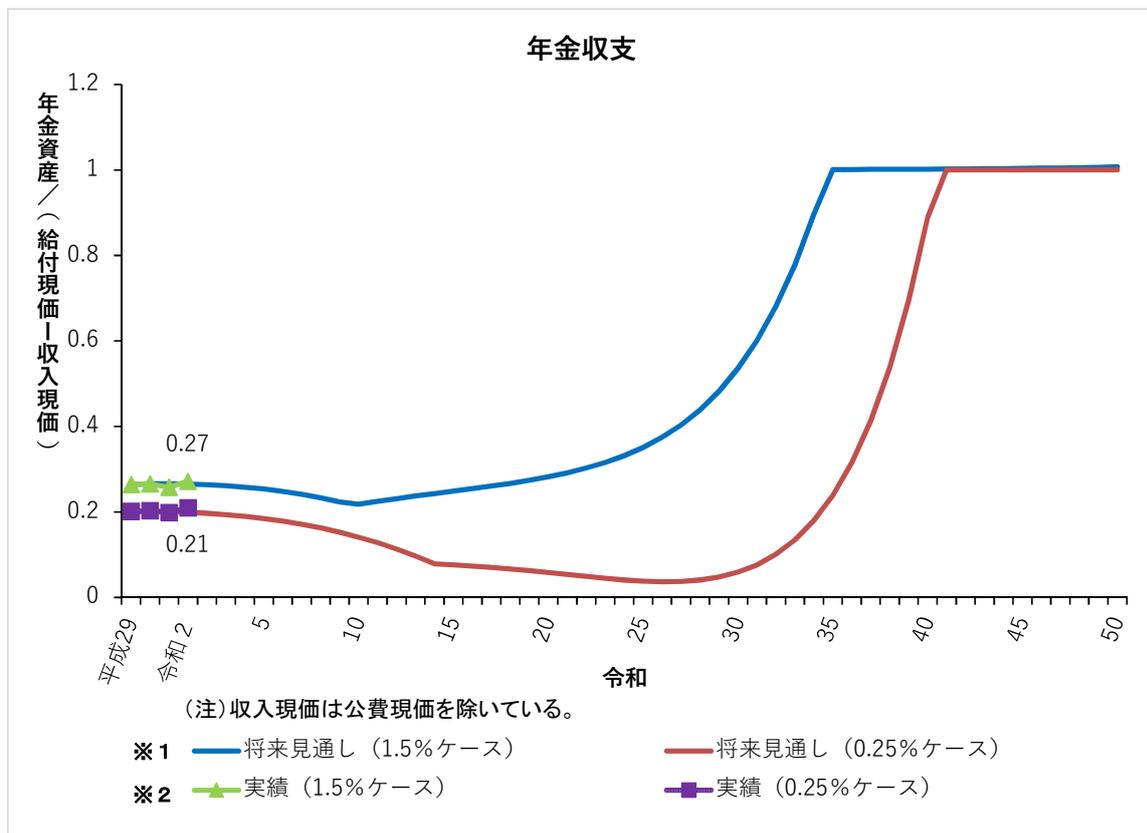
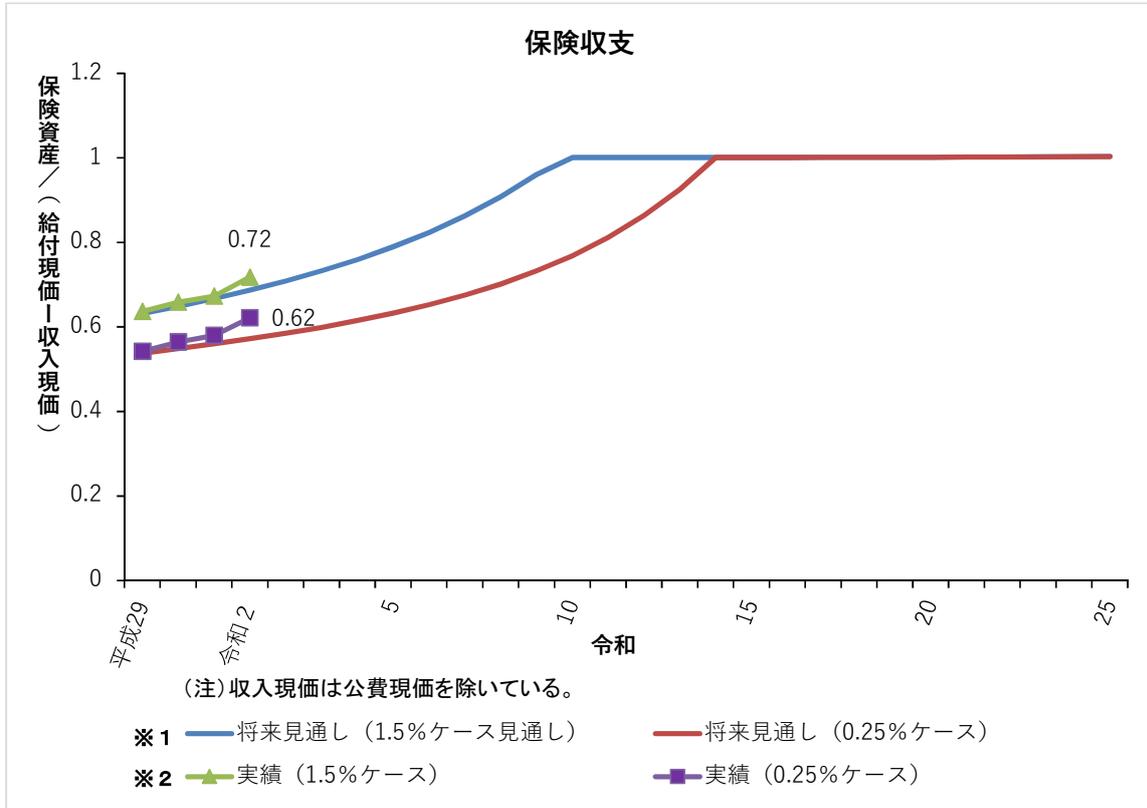


### 概要

- ・ 1, 0 0 0 人推計と比較すると、保険金収入は年々減少を続ける。
- ・ 収支差は、公費が増額となる令和 1 2 年度以降も、令和 2 0 及び 2 1 年度においては一旦マイナスとなり、さらに公費終了後の令和 3 7 年度以降は、資産を取り崩し続けることとなる。

## 5 積立比率について

【平成19年度以前加入者分】



## 【平成19年度以前加入者分】

### ※1 将来見通し

グラフ中における各線については、平成29年度の国の見直しの検討において用いられた基礎数値に基づき示された将来見通しのうち、運用利回りを1.5%としたケースと0.25%（標準利率）としたケースである。

（平成29年度についてのみ、国において示された基礎数値に基づき機構において積算）

[運用利回り1.5%ケース]

国の将来見通し(令和2年度)：保険収支：0.69      年金収支：0.27

[運用利回り0.25%ケース]

国の将来見通し(令和2年度)：保険収支：0.57      年金収支：0.20

### ※2 実績

各実績については、本推計の基礎数値を用いて、運用利回りを1.5%としたケースと0.25%（標準利率）としたケースで算出したもの。

[運用利回り1.5%ケース]

令和2年度実績      : 保険収支：0.72      年金収支：0.27

[運用利回り0.25%ケース]

令和2年度実績      : 保険収支：0.62      年金収支：0.21

## 【平成20年度以降加入者分】

[運用利回り1.5%]

令和2年度実績      : 保険収支：1.19      年金収支：1.00

## 【結論】

平成19年度以前加入者分については、公費投入期間中であることから各積立比率は「1」を割っているものの、令和2年度までの実績値は、国の将来見通しを上回っている。

また、平成20年度以降加入者分の保険収支については、積立比率が「1」を上回っており、年金収支についても、ほぼ「1」を確保している。

## 6 責任準備金について（令和2年度末現在）

（単位：百万円）

	令和2年度	令和元年度	増減
① 年金の現価相当額 [受給者分]	229,550	231,221	△ 1,671
② 公費負担現価 [受給者分]	163,542	163,314	228
③ 責任準備金の額（①－②）	66,008	67,908	△ 1,900
④ 年金資産額	73,526	70,823	2,704
⑤ 繰越剰余金（④－③）	7,519	2,915	4,604

（注）単位未満端数四捨五入のため、合計等が一致しないことがある。

※ 予定利率は、1.5%である。

（単位：百万円）

	令和2年度	令和元年度	増減
⑥ 公費負担現価の総額	205,099	206,600	△ 1,501
⑦ 公費負担現価 [加入者分（※2）]	41,557	43,286	△ 1,730
② 公費負担現価 [受給者分（※1）]（⑥－⑦）	163,542	163,314	228

（注）単位未満端数四捨五入のため、合計等が一致しないことがある。

（※1）受給者分とは、当該年度末における受給者のうち、平成19年度以前加入口に係るものである。

（※2）加入者分とは、当該年度末における加入者のうち、平成19年度以前加入口に係るものである。

（公費負担現価 [加入者分] の算定）

（単位：百万円）

	令和2年度	令和元年度	増減
⑧ 年金の現価相当額 [加入者分]	169,294	176,276	△ 6,982
⑨ 保険金現価	127,737	132,989	△ 5,253
⑦ 公費負担現価 [加入者分]（⑧－⑨）	41,557	43,286	△ 1,730

（注）単位未満端数四捨五入のため、合計等が一致しないことがある。

※ 当該年度末における加入者のうち、平成19年度以前加入口に係るものである。

## ○ 心身障害者扶養保険事業財務状況検討会委員名簿

(50音順、敬称略)

氏 名	所 属・職 名
清 水 時 彦	東京理科大学インベストメント・マネジメント株式会社 エグゼクティブ・アドバイザー
鈴 木 裕 子	公認会計士
栃本 一三郎	上智大学 総合人間科学部 教授
◎ 府川 哲夫	特定非営利活動法人 福祉未来研究所 代表
○ 村山 令二	健康保険組合連合会 参与 (公社) 日本年金数理人会 副理事長

◎印は座長、○は副座長